

名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第65号 2018年9月30日発行

CONTENTS

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画
4	新役員・委員一覧
5	2017年度 後援会決算報告
7	2018年度 後援会予算書
9	名古屋芸術大学近況報告
25	学務部報告
26	2018年度 学生数 大学へのお問合せ一覧
27	2018年度 年間行事予定
30	就職セミナーのご紹介
33	各学部進路状況
34	音楽学部主催による演奏会のご案内
35	先輩の活躍
37	親の想い
38	子の想い
39	クラブ・同好会紹介
41	後援会委員募集
42	トピックス ピックアップ
45	ブライトン大学グラデュエイト賞報告
46	アート&デザインセンター 展覧会スケジュール
47	大学組織図
48	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
49	学校法人名古屋自由学院決算報告
50	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集 編集後記



ごあいさつ



後援会長

山内 正春

私は去る5月20日に開催された後援会定期総会において会長に選任されました山内正春と申します。

保護者の皆様には日頃から後援会活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。本日は後援会活動について私の思いを伝えさせていただきます。

後援会活動の目的は大学諸活動の後援ですが、そのための主な活動は

1. 学生課外活動への援助、学生福利厚生に関する援助
2. 大学の正常な運営への寄与と保護者の希望を大学に反映させる活動
となっています。

1. に関する最大の援助は秋の芸大祭、クラブ活動、就職活動等への金銭的な支援と申します。

一方で芸大祭、各種演奏会、卒業展などの学生活動の成果発表の場に保護者が積極的に参加して、学生のやる気をもり立てるのも大きな支援と考えます。

先日の音楽系学生の演奏会（コンチェルト）発表の場に参加させていただきました。立派な演奏を生で聞けるのは保護者自身の楽しみでもあります。これらの演奏会等の情報は名古屋芸術大学のホームページにも載っていますので、皆さん誘い合って参加し学生サポートとともにその発表を楽しみましょう。

2. に関しても一言伝えさせていただきます。今年の総会ではこの4月に卒業した先輩4名や10年ほど前に卒業した先輩の就職活動に関する経験談を話していただく企画がありました。保護者にはご子息の就職のことが心配になる人が多いとみえ、今年は例年になく総会参加者が多かったと思います。

このような企画や学生の安全・安心な通学路の確保等、様々な要望を大学に提案して改善していただくのも後援会の役割と認識しています。

後援会は大学の後援会事務局のサポートの下、保護者を中心に運営をしております。至らない点もありますが、上記の活動を役員、委員の方々とともに精一杯務めさせていただきます。委員として参加協力していただける方を随時募集しておりますので、主旨に賛同いただける方がみえましたら是非ご協力をお願い致します。



学長

竹本 義明

今年度の後援会総会は卒業生による就職活動体験報告会を実施しました。保護者の皆様には、ご子息、ご息女の卒業後の進路が最大の関心事であり、卒業後の就職を考える上で参考となり概ね好評であったと感じています。

本学の教育理念と目的は「知性と感性のバランスのとれた教育理念に基づき、分野横断的取り組みによる新たな価値の創造を実現する。」となっています。そして「キャリア教育の取り組みを強化し、自治体や企業との連携を進展させ、芸術による教育・研究を発展させ地域・社会に貢献する。」としています。

将来の目標が定まらないまま入学する学生が多くなるなか、大学生生活において明確に目標を定め、活躍する卒業生が増加し、大学全体としてこの数年間就職率が90%を超えて推移し、その目的は十分達成されていると考えています。

日本は諸外国と比較して大学における学生の年齢構成が18歳に偏っていることが取り上げられることがあります。25歳以上の大学入学率割合がOECD各国が20%に達しているのに、日本は2%に満たない状況にあるためでしょう。

人生100年時代を迎え、生きがいを持って生活するため大学の果たす役割は大きいと考えています。あらためて文化芸術や人間教育について、幅広い知識や技能を身につける目的を持って本学で学びを実現できるよう、さらに環境整備を進めなくてはならないと考えています。

後援会の皆様に総会で「せせらぎ合唱団」会員募集や絵画グループ「壁の華」会員募集が紹介されますが、北名古屋市と共催で実施する「生涯学習講座」への参加や研究生及び科目等履修生で学ぶことを考えられてはいかがでしょうか。

大学は今後リカレント教育について、教育と就労を交互に行うことを勧める教育システムに取り組み、社会に必要とされる大学運営を実現できるよう努力したいと考えています。

2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

平成30年5月20日(日)午前10時から西キャンパスにおいて、「2018年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催され、(1)2017年度事業報告、(2)2017年度決算報告、(3)監査報告、(4)2018年度役員改選、(5)2018年度事業計画、(6)2018年度予算が承認されました。

2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月 日	事業内容	役員	委員	開催場所
5月21日(日)	2017年度後援会定期総会/ 定期総会事前打合せ	○	○	東キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費) 振替 前期分			
5月31日(木) ~6月5日(月)	イギリス、ブライトン大学 グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加			イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付			
6月24日(土)	第1回役員会	○		東キャンパス
7月22日(土)	第2回役員・委員会	○	○	西キャンパス
9月30日(土)	後援会報第63号発行			
10月1日(日)	後援会研修旅行【日帰り】	○	○	遠州/浜松
10月28日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む)/ 芸大祭参加	○	○	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費) 振替 後期分			
1月20日(土)	第4回役員・委員会	○	○	札幌かに本家 名駅
2月22日(月)	ブライトン大学賞表彰式(会長)			西キャンパス
2月24日(土)	第5回役員・委員会	○	○	東キャンパス
3月20日(火)	卒業式参列(会長・副会長)			日本特殊陶業 市民会館
3月20日(火)	卒業記念パーティ (会長はじめ役員)	○		名古屋 マリオット アソシアホテル
4月1日(日)	入学式参列 (2017年度会長・副会長)			
4月14日(土)	2017年度会計監査			
4月14日(土)	第6回役員会・委員会	○	○	
4月	後援会報第64号発行			
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業等を行いました。 ○:参加予定(参加が義務ではありません)			

2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月 日	事業内容	役員	委員	開催場所
5月20日(日)	2018年度後援会定期総会/ 定期総会事前打合せ	○	○	西キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金(後援会費) 振替 前期分			
5月31日(木) ~6月4日(月)	イギリス、ブライトン大学 グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加			イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付			
6月23日(土)	第1回役員・委員会	○	○	東キャンパス
7月21日(土)	第2回役員・委員会	○	○	西キャンパス
9月	後援会報第65号発行			
10月6日(土) ~7日(日)	後援会研修旅行	○	○	信州/ 横谷温泉
芸大祭 開催中	第4回役員・委員会	○	○	
12月中旬	法人より委託徴収金(後援会費) 振替 後期分			
1月19日(土)	第4回役員・委員会	○	○	
2月23日(土)	第5回役員・委員会	○	○	東キャンパス
3月卒展 開催中	ブライトン大学賞表彰式			
3月	卒業式参列(会長・副会長)			
3月	卒業記念パーティ (会長はじめ役員)	○		
4月上旬	後援会報第66号発行			
4月	入学式参列 (2018年度会長・副会長)			
4月	2018年度会計監査 (2018年度監査2名)			
4月	第6回役員会・委員会	○	○	
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業等を行う予定です。 ○:参加予定(参加が義務ではありません)			

■2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

役職名	氏名
会長	山内 正春
副会長 (総務委員長)	三浦真由美
副会長 (事業委員長)	川野 佳代
副会長 (広報委員長)	野々山早苗
副会長(会計)	近藤 結花
会計監査	菊井政右衛門
会計監査	吉長 未名
書記	柏木 司
書記	池野 美鈴
会計	川瀬めぐみ
監事	平井 友明

役職名	氏名
総務副委員長	小嶋 史子
総務委員	橋本 博文
総務委員	矢野 章子
事業副委員長	荻須 紀子
事業委員	石黒 和広
事業委員	森 愛子
広報副委員長	伊藤 文子
広報委員	佐藤実奈子
広報委員	小池真紀子

定期総会終了後のイベント企画として「卒業生の就職活動体験報告会」が実施され、平成30年3月に卒業した新社会人及び現在、社会で活躍しているOB、OGを招き、就職活動で体験したこと、企業で活躍するうえで、名芸での教育がどのように活かされたかを各自の視点で報告いただきました。

また、午後からは大学主催の教育懇談会及び西キャンパスの施設見学会が実施されました。



後援会定期総会 平井会長挨拶



後援会定期総会 竹本学長挨拶



卒業生による就職活動体験報告



卒業生による就職活動体験報告

■2017年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,715,697	1,715,697	0	
会 費 収 入	21,742,000	21,342,000	400,000	
特別会計より組入	2,400,000	2,400,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	100	73	27	普通預金
手数料他収入	20,000	22,600	-2,600	寄付
合 計	25,877,797	25,480,370	397,427	

支出の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	250,000	48,554	201,446	
旅 費・交 通 費	250,000	192,000	58,000	
会 議 費	350,000	248,358	101,642	
事 務 費・用 品 費	50,000	28,863	21,137	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	25,000	75,000	
渉 外 費	150,000	119,358	30,642	役員出張手当等
事務職員人件費	850,000	705,042	144,958	
(総務関係合計)	2,000,000	1,367,175	632,825	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	4,902,045	597,955	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	837,562	162,438	
公開講座補助	3,600,000	3,351,074	248,926	
役員研修費補助	400,000	243,689	156,311	
(事業関係合計)	21,500,000	20,334,370	1,165,630	
広 報 活 動	1,350,000	1,259,064	90,936	広報誌
広報誌郵送料	500,000	396,082	103,918	
(広報関係合計)	1,850,000	1,655,146	194,854	
定期総会運営費	500,000	339,847	160,153	
予 備 費	27,797	0	27,797	
次 年 度 繰 越	0	1,783,832	-1,783,832	
合 計	25,877,797	25,480,370	397,427	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	1,501,245	1,501,245	0	
雑収入	300	129	171	
合計	1,501,545	1,501,374	171	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,545	1,501,374	171	
合計	1,501,545	1,501,374	171	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	13,815,347	13,815,347	0	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	5,000,000	4,199,810	800,190	
雑収入	100	120	-20	
合計	18,815,447	18,015,277	800,170	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
学生貸付金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	2,400,000	2,400,000	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	16,415,447	15,615,277	800,170	
合計	18,815,447	18,015,277	800,170	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	2,134,201	2,134,201	0	
雑収入	50	18	32	
合計	2,134,251	2,134,219	32	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	差異	備考
記念事業等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,251	2,134,219	32	
合計	2,134,251	2,134,219	32	

■2018年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2017年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,783,832	1,715,697	68,135	
会 費 収 入	22,420,000	21,742,000	678,000	4月1日現在 新生 515名 在学生 1371名 休学者 34名 大学院生 47名
特別会計より組入	0	2,400,000	-2,400,000	
受 取 利 息	100	100	0	普通預金
手数料他収入	13,600	20,000	-6,400	事業協賛金
合 計	24,217,532	25,877,797	-1,660,265	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予 算	2017年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	250,000	-150,000	
旅 費・交 通 費	250,000	250,000	0	
会 議 費	300,000	350,000	-50,000	
事 務 費・用 品 費	50,000	50,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	150,000	150,000	0	役員出張手当等
事 務 職 員 人 件 費	850,000	850,000	0	担当派遣職員
(総務関係合計)	1,800,000	2,000,000	-200,000	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,500,000	0	
卒 業 生 を 送 る 会 補 助	400,000	400,000	0	各領域10万円とする
学 生 自 治 会 補 助	600,000	600,000	0	
国 際 交 流 補 助	800,000	1,000,000	-200,000	特別会計より資金組 み入れしないため減 額予算とする
公 開 講 座 補 助	2,300,000	3,600,000	-1,300,000	
役 員 研 修 費 補 助	400,000	400,000	0	
(事業関係合計)	20,000,000	21,500,000	-1,500,000	
広 報 活 動	1,350,000	1,350,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広 報 誌 郵 送 料	500,000	500,000	0	
(広報関係合計)	1,850,000	1,850,000	0	
定 期 総 会 運 営 費	500,000	500,000	0	イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	67,532	27,797	39,735	
合 計	24,217,532	25,877,797	-1,660,265	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,501,374	1,501,245	129	
雑 収 入	150	300	-150	
合 計	1,501,524	1,501,545	-21	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,524	1,501,545	-21	
合 計	1,501,524	1,501,545	-21	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	15,615,277	13,815,347	1,799,930	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	3,000,000	5,000,000	-2,000,000	
雑 収 入	100	100	0	
合 計	18,615,377	18,815,447	-200,070	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	0	2,400,000	-2,400,000	
予 備 費	15,000	0	15,000	貸付金過払い返済
次年度繰越金	18,600,377	16,415,447	2,184,930	
合 計	18,615,377	18,815,447	-200,070	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,219	2,134,201	18	
雑 収 入	20	50	-30	
合 計	2,134,239	2,134,251	-12	

支出の部

単位：円

科 目	2018年度 予算	2017年度 予算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,239	2,134,251	-12	
合 計	2,134,239	2,134,251	-12	

名古屋芸術大学近況報告

音楽学部 / 芸術学部芸術学科音楽領域

音楽領域の大きなトピックスとして、来年度新たに2つの新コースが開設されます。

1つは「ダンス・パフォーマンスコース」です。このコースは、あらゆるダンスシーンに対応出来る人材を育成するべく、ダンスに特化したカリキュラムになっております。

そしてもう1つは「ウインドアカデミーコース」です。このコースは、将来的に吹奏楽に関わるあらゆる職種に対応可能な、多彩なカリキュラムになっております。

それぞれ大学のホームページにアップされておりますので、是非そちらをご覧ください。

それでは、各コースからの近況報告です。

声楽コース

声楽コースでは今年初めて外部の財団からオペラ公演に対しての助成を受けることになりました。またこれも初めての取り組みとなりますが合唱指揮者講習会を行う運びとなりました。始めに助成につきましては、青山音楽財団という「音楽を愛する若者たちを支援する」財団から学校等支援助成金として今年度2019年3月に行いますオペレッタの助成で80万円を拝受することになりました。40年間行ってきたオペラ公演の実績とこの2年間に亘る名古屋市西文化小劇場との取り組みを評価して頂いたのではと思っています。大変貴重な助成で公演の遂行に大きな助けとなります。今年は昨年に引き続きオペレッタです。観客の皆様喜んでもらう公演になるように努めたいと思っています。公演は2019年3月16日(土)と17日(日)の2日間行います。

また2019年2月には恒例の歌曲の夕べも熱田文化小劇場で開催しますのでそれも合わせてご来場下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

その他新しい試みとして合唱指揮指導講習会を11月23日(金)午後5時から開催します。指導者は高谷光信先生で高校生と一般の合唱指導者向けの講習会です。合唱指導者向けの講習会は少なく以前から声楽コースでは合唱指導者向けの講習会が出来ないのか検討していました。本学の指揮授業の講師高谷光信先生から大変前向きなご提案を頂き今回試験的に導入することとなりました。高校の合唱部の生徒さんまた一般の様々な合唱クラブの皆様のお役に立てれば幸いです。詳細は大学ホームページで閲覧することが出来ます。

鍵盤コース(ピアノ)

皆様こんにちは。鍵盤楽器コース長(ピアノ)の菅原です。

ピアノコースでは、7月1日に特別客員教授の植田克

己先生をお招きして、「ショパンの真髄に迫る パートII」というテーマで講演していただきました。先生は学生の演奏の前に、ショパンの即興曲第2番を演奏されました。このように、教える前に弾いて下さる先生は少ないので、大変有り難いことと思っております。

そして、本学ピアノコース4年生の土屋宗太君がバラード第1番を、3年生の梶島万夕花さんがバラード第3番を演奏し、公開レッスンを受けました。いつもながらの植田先生の洞察力に、私たちは新しい発見の連続でした。

尚、先生には、講座の後と翌日、数人の学生たちの個人レッスンをしていただきました。(植田先生は11月にも来学されます。)

さて、今度9月13日には鍵盤楽器コース主催で、あの世界的ピアニスト横山幸雄さんの公開講座を行うことになりました。横山君が、私菅原と同門の後輩という関係から、愛知県で初めての企画が実現する運びとなったのです。

お聴きいただくには申し込みが必要ですが、どうぞたくさんの方の御越しをお待ちしています。

鍵盤楽器コース/ピアノ 菅原美枝子

鍵盤楽器コース(電子オルガン)

大きな学部改編などございまして二年目の今年度、総合コースの電子オルガン専攻を含めまして、6人、共にこの分野で勉強をしていってくれるという新入生を得ることが叶いました。常より学内での実技レッスンは元より、学生の大学外部での演奏機会を得ることも教育効果を上げるためには有効だと考えております。

お陰さまで地域社会とも良好な連携を築かせて頂いております。豊橋市の自然史博物館『のんほいパーク』の目玉とも申せませぬ恐竜展示のテーマ曲に、本学の電子オルガンコース卒業生、望月茜さん…当時は学部四年生でした…の音楽が採用されたこともあり、この夏、作曲家本人と、同じく電子オルガンコースの卒業生、時田莉佐さんが同・博物館にてのライブをさせて頂きました。また、こちらも恒例になっている尾張一宮の七夕祭りのステージで、現役の名芸電子オルガンコース学生によるライブステージの機会を頂戴し、学生たちはのびのびと演奏して足を止めて頂けたお客様の耳を楽しませました。その日のラストステージでは、昨年の本コース首席卒業生で、成績優秀により音楽学院の学長賞も拝受致しました野田友香さんの電子オルガンとご友人のサクソとのデュオで大いにお祭りのライブを盛り上げてくれました。

7月の初旬の日曜日には、非常勤講師の多大なる協力

を得まして、本学の2号館キャンパスとホールにて大々的にワークショップを開催し、大勢の中部東海北陸の電子オルガン学習者や指導者の方々にいらして頂き、名芸の電子オルガン専攻の意義と活動に肯定的になって頂けたようで、大変嬉しく思っております。

重ねまして、皆様のご理解とご協力をおもひまして学生共々、澆刺と活動をさせて頂いております。これからも楽器としての未来に未知数が多い電子オルガンを学生と共に道を模索して進んでいく所存です。今後とも幾重にもよろしくお願いたします。

鍵盤楽器コース/電子オルガン専攻担当 鷹野雅史

弦管打コース

5月8日に作曲家の鈴木英史氏をお招きして、2018年吹奏楽コンクール課題曲Ⅰ～Ⅳの解説を、本学ウィンドオーケストラの演奏で行いました。この模様はYouTubeにアップされていますので、興味のある方はご覧下さい。6月29日にはしらかわホールにて、コンチェルトの夕べが行われました。今年も本コースより1組のソリスト(江尻雪乃さん・中村沙紗也さん)が出演し、ドブラー作曲の2本のフルートの為の協奏曲が披露されました。さて今後の予定ですが、9月16日に豊田市コンサートホールにて、ウィンドオーケストラの定期演奏会、12月12日には愛知県芸術劇場コンサートホールでオーケストラの定期演奏会(今年は第9です)また、9月29日に行われるオープンキャンパス内で「音大卒は武器になる」の著者、大内孝夫氏の講演会を行います。

サウンドメディア・コンポジションコース

本コースは、音楽制作・録音・音響を学びながら、新しい時代の音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考え、作品制作に取り組んでいます。前期は通常の授業に加え、以下の特別講義・公開講座を行いました。

6月21日、オーディオテクニカ マイク開発者秋野裕氏、デビット・ワルタ氏を招いて公開講座「マイクロホンの世界」を行いました。講義前半は、マイク開発者秋野裕氏によるマイクの種類や構造、またどういった場面にどのように適応するものであるかなど、興味深いお話をして下さいました。後半は、学生によるバンド演奏、またPAや録音も学生で行い、グローバル技術支援担当デビット・ワルタ氏にマイクについて解説して頂き



ながら様々なマイクを使用して聴き比べを行い、マイクが異なると何が変化するかを体感しました。

6月29日名古屋 三井住友海上しらかわホールにて行われた本学のコンサート「コンチェルトの夕べ」のライブレコーディングを2・3年生の有志が行いました。ドブラー：2本のフルートのための協奏曲、ブラームス：大学祝典序曲、ショパンピアノ協奏曲第2番といったオーケストラ曲をどのように録音すべきかについて、事前に研究しながら録音の実践を行うことができました。また、今回は、高さのサラウンドマイクも追加し、9.0chの3Dオーディオでもミキシングできるように録音を行いました。参加した学生はとても貴重な経験となりました。



7月26日(木)株式会社カプコン堀論史氏(卒業生)を招いて特別講義「ゲーム音楽制作について」を行いました。ゲーム音楽が出来上がるまでの大変興味深いお話から、堀氏の学生時代のお話や楽曲制作への取り組む姿勢について、また勉強方法など学生の意欲が高まる貴重なお話をさせて頂きました。



これらのコースの活動については、本コースのwebサイトで詳細を掲載させていただいております。ぜひご覧ください。<http://soundmedia.jp>

また、本コースでは来る2018年2月16日(土)、本コース学生が、現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら、映像や照明の演出表現を加え、アートと音楽の有機的結合をめざすコンサート、「カレイド・スコープ」を本学2号館大アンサンブル室で行います。ご支援のほどよろしくお願い致します。

サウンドメディアコース 准教授 長江和哉

音楽ケアデザインコース

4月に入学した新1年生は、最初こそ緊張した面持ちでしたが、すぐに積極性とチームワーク力を発揮して、様々な活動を行っています。学内での模擬セッション考案や知識の習得に加えて、先輩の実習先やボランティア先にも早速見学参加をして、実際の音楽療法の現場を体験しています。今後の成長が非常に楽しみです。



5月2日には、豊橋市自然史博物館 開館30周年記念式典がありました。この記念すべき日のミュージアムコンサートを、音楽療法、ケアデザインコースの卒業生、研究生、在学生の混合グループが担当させて頂きました。開幕のファンファーレの作曲も卒業生が担当し、歌や電子オルガンや管打楽器、そして参加型プログラムなど、幅広い能力を発揮する頼もしさを見せてくれました。音楽療法の理論や技法を応用して行う参加型のコンサートが好評で、このような依頼がぐっと増えています。学生や卒業生にとっては、始めてお会いする方々などのように音楽するか…ということを考えるいい機会になっているようです。また、学年を超えた縦のつながりが深まるという意味でも非常に大切な機会です。今後も様々な場面で活動が広がることを願っています。

また、本コースでは今年度より、様々な現場の実践家であると同時に、脳機能と音楽療法の研究者でもある森川泉（城森泉）氏を教員として迎えることができました。今後のコースの学生教育と研究の発展に、ひいては音楽療法という学問の発展に寄与できるよう、教員としてもより一層の努力をして行く所存です。Facebook公式ページも随時更新しておりますので、ご覧いただけると大変うれしく存じます。

[http://www.facebook.com/](http://www.facebook.com/meigei.music.therapy.caredesign)

meigei.music.therapy.caredesign
音楽ケアデザインコース 伊藤孝子



ポップス・ロック&パフォーマンスコース

ポップス・ロック&パフォーマンス コースでは、7月5日、2号館中アンサンブル室にて、学生企画運営による“有志ライブ”を開催しました。この企画ライブは昨年より始動したばかりのイベントですが、学生の能動的な演奏参加を促すと共に、ライブの企画運営も含めてのライブ経験をしてもらう目的で始めたものです。特に今年度は、エンターテインメント・ディレクションコースとの合同企画イベントに発展し、ライブハウス仕様生まれ変わった中アンサンブル室の本格設備を総動員してのイベントとなりました。このライブには1年生から4年生まで誰でも希望すればエントリーできるシステムとなっており、選出された4つのバンドが白熱した演奏を繰り広げ、観客である学生には大きな刺激となったことでしょう。



7月12日には公開講座を開催しました。これは毎学期、第1線で活躍するミュージシャンを招いてのセミナーです。今回は、アメリカ人のシンガーソングライター・音楽博士であるDr.Capital氏をお招きしました。Dr.Capital氏は現役の音楽教授（南カリフォルニア大学、秋よりノーステキサス大学）でありながら日本語が堪能で、年に数回来日してTV出演やイベントに参加する活動を行っています。今回は、ポップスの様々な曲を用いて、アカデミックな視点からコード進行の理論を分析し、多くの学生にとってはアカデミックな理論の重要性が認識されました。後半は実際に学生のオリジナル作品演奏に対してのクリニックと自信のパフォーマンスで締めくくり、流暢な日本語（関西弁）とタレント性も合わせ、満員の学生たちが満足した結果となりました。





7月19日には、合奏(セッション)授業の学期末発表会となるライブが行われました。これは通称“ロビコン”として開催されるライブですが、合奏(セッション)の授業を履修している学生は、このロビコンで演奏することが単位認定の条件となっています。また、このライブはコースの中核となる実技8単位のレッスンで学んだ内容を、実際のアンサンブルで修得するために欠かせないもので、多くの学生が履修しており、2時間30分にも及ぶ大がかりなイベントでもあります。今回も、5つの異なるジャンル・スタイルのクラスからそれぞれが1学期間かけて練習してきた内容を発表しました。アコースティック・ポップス&ラテンジャズ、ヴォーカル・アンサンブル、ジャズ、ジャズ&ポップス、ロック&ポップスの各クラスからの多彩な内容でのコンサートです。今年度からはエンターテインメント・ディレクションコースの全面的な協力を得て、今までにない本格ライブの環境での演奏となり、学生にとってはよりリアルな実習授業となっています。

ジャズ&ポップスコース 教授 上田浩司

アートマネジメントコース

アートマネジメントコースは、文化施設を主なフィールドとして、文化政策や企画制作、施設運営の分野で活躍できる人材育成を目指し、理論と実践のバランスをとりながら教育活動を行っています。大きな特徴は、数多くの「現場」に恵まれていることです。本稿では、各学年の春から夏にかけての取り組みを紹介します。

・4年生

卒業制作として、ライブハウスでのジャズライブを企画しています。会場打ち合わせ、アーティストへの出演依頼、チラシ作成のためのデザイナーとの打ち合わせ、予算管理、券売計画等、これまで3年間で学んできたことの集大成として、全て自分たちの手で行う“手打ち公演”です。並行して、卒業論文の準備もしています。

・3年生

2年に1回行われている長久手市主催「おんぱく」(6月9日～8月5日)に今年もスタッフとして参加しました。ボランティアスタッフの統括、後輩学年への指導、劇場スタッフやアーティストとのやり取り等、大きなイベントのオペレーションを経験しました。

そして、8月25・26日に行われる「こまぶんフェス

タ」(一般財団法人こまき市民文化財団主催)でライブ付きカフェを運営するために、デザイン領域と芸術教養領域と一緒に企画制作を行っています。アーティストとの打ち合わせも細かに行っています。

・2年生

昨年度の3年生が実施したアッセンブリッジ・ナゴヤの研究プロジェクトを引き継ぎました。今年はみなとまちの子どもたちに自分たちのまちに愛着を持ってもらうことを目的に、保育園へのアウトリーチ、スタンプラリー、神社でのコンサートの3つを企画しています。デザイン領域と協力しながらの作業のために、夏休み返上で準備中です。

・1年生

夏に清里で開催されるフレッシュマンキャンプ。最終日に1年生主体で行うコンサートの企画制作を行っています。コンセプト、目的、内容等、座学で学んだ知識を実践するためにプレスト、プレゼンが活発に行われています。文化政策の勉強はたいへんですが、関連する法律はスラスラと言えるようになりました!後期は、昨年度から引き続いて「てんぱく音楽祭」の広報マネジメントが待っています。

各学年のイベントを先輩後輩が手伝うことも多々あるアートマネジメントコース。異学年の交流を深めるために月1回のペースでランチ会を始めました。先輩の知見を後輩が受け継ぐ良い機会です。

このようにアートマネジメントコースは、他領域横断、異学年横断、と視野や人脈を広げながら学んでいます。今後とも、ご父兄の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



3年 おんぱく



声優アクティングコース

今年度から新設された声優アクティングコースでは、20名の生徒が積極的に授業に取り組んでいます。前期は、声優の基礎となるレッスンをベースとし、3人の講

師が各々特化した内容を行いました。具体的には、宝塚出身のまほろば先生には歌唱を、福満先生には発声・滑舌・朗読などを指導して頂きました。そして、私の授業では、声優演技のベースとなる、身体を動かした俳優演技の基礎レッスンを行いました。さらに、西キャンパスのライティングコースの生徒達との交流授業も行い、彼らの書いた脚本を、声優アクティングコースの生徒達が演じるというレッスンも行いました。

後期には、アニメ台本を題材とした、もう一段階声優に特化した授業や、有名声優を招いた実習、さらに、年度末の発表会に向けたレッスンなどを、生徒と講師、一丸となって頑張っていきたいと思っています。

まだできたばかりのコースなので、試行錯誤の連続ですが、皆仲良く、やる気を持って取り組んでくれています。今後も他コースとの交流など、積極的に行っていきたいと思っています。



美術学部 / 芸術学部芸術学科美術領域

美術領域の日本画コース、洋画コース、アートクリエイターコースでは前期、様々な実技授業や特別講義、講習会などのイベントが行われました。

日本画コースは例年、1年生の実技授業での絹絵制作で鳥の剥製を描いています。そのモチーフ研究の一環として6月23日に掛川花鳥園で生きた鳥を描くクロッキーの授業を行い、観察しながら生命感に迫る制作を目指しました。



また7月18日には絵筆の老舗「不朽堂」の筆匠、樋口さんによる講義と筆作りの実演をして頂き、絵筆に関する知識、意識の向上を高め繋げることができました。日本画を制作するための画材は年々職人が減少している現状があり、学生へ文化財を継承していく必要性も同時に学んでいくことを目的にした授業でした。



洋画コースでは6月22日にアーティストの田村友一郎氏による特別講義「Excuse me, Excuse you 世界は終わり、名古屋を許す」が開催されました。世界で活躍する田村氏の過去作品から、今現在進行させている制作やプロジェクトなどについてのレクチャーが行われ、田村さんらしいユニークな視点や考え方に学生は熱心に聴講していました。人気アーティストのレクチャーで他コースや学外からの聴講生もあり大盛況でした。また講義終了後は学生作品を鑑賞しながら講評が行われました。



7月11日には画家の蛸子真理央氏による「風景制作実演」を実施しました。まず「現場で描くということ」をテーマに特別講義が行われ、風景画に対するこだわりなどを学生にレクチャーされました。その後、アトリエ前の通路にて俯瞰した風景を題材に、蛸子真理央氏と共に学生と一緒に絵画制作を試みました。今回の授業では、実際に現場で風景を観察して感じながら絵を描くことの大切さを学ぶことができました。



アートクリエイターコースでは、北名古屋市と災害時相互応援協定を結んでいる鹿児島県南さつま市で開催された「2018吹上浜砂の祭典」(5月1日～31日)に教員と学生と一緒に参加しました。今年の砂像テーマは「ジュラシックファンタジー～進化の足音、どん・どん・どん～」で、制作した作品は「恐竜にスマホ」とユニークなタイトルをつけ、左官用のコテや油絵用のペインティングナイフなどを駆使しながら、4月21日～25日までの短期間で巨大な砂山を彫り進めていきました。今年も天候に左右されることもなく、学生たちも海外招待作家たちと交流しながら刺激を受けて大作を完成させることができました。



また5月17日から約2週間デンマークのVillage Association for Gludsted & environsとの国際交流の一環で、ヨーン・ミカエル・アンデルセン氏を本学に招き、アーティスト・イン・レジデンス「FROM DENMARK」を開催しました。本学准教授の松岡徹先生、卒業生の磯部絢子さん、山本千晴さん、山本真弥さんがこのレジデンスに参加して一緒に公開制作を行いました。レジデンス終了後は5人の作品と学生たちが公開制作に混ざって一緒に制作したドローイング作品も合わせ、本学A&Dセンターで展示会が開催されました。



美術領域主任 須田真弘

デザイン学部 / 芸術学部 芸術学科デザイン領域

今年度デザイン領域は、受験生も多く、1年生220名という過去最多の入学生を迎えスタートし、教育環境を維持すべくその対応に奔走しました。今回は、デザイン学部、デザイン領域の活動について、ファンデーション及び各コースからの学内外で行っている活動の報告をまとめました。

・フレッシュマンキャンプ

入学年度のスタートにあたる4月21日に、学生間及び学生と教員の親睦を深めるためフレッシュマンキャンプを行いました。今年度はデザイン領域・音楽領域・美術領域・芸術教養領域を合わせた全芸術学部1年生合同での実施となりました。常滑のINAXライブミュージアムでの展覧会鑑賞の後、浜焼きを一緒に楽しみ、更に、武豊町ゆめたろうプラザで音楽領域の上級生らが企画講演した新入生歓迎ミュージカルの鑑賞を行うなど、領域を超えた充実した内容となりました。



・ファンデーション

ファンデーションプログラム前期最終日にあたる7月27日に、ワンデーワークショップを行いました。4～5名のグループに分かれ、予め用意された材料(四六判画用紙1枚)のみを使い「10秒を計る道具」をつくるというものです。このワークショップの目的は、グループ全員でアイデアをつくり、プロトタイピングをすばやく繰り返し(作りながら考える、考えながら作る。)、より理想的な結果を得るといった過程から、アイデアを共有しながら複数でデザインプロセスを進めることの重要性を体験すること、また特定の課題と条件(この場合「10秒を計る」ことを限られた材料と時間で達成する)に対して、あらゆる方向からの解決策を模索するという、デザインの基礎的な視点を体験することにあります。



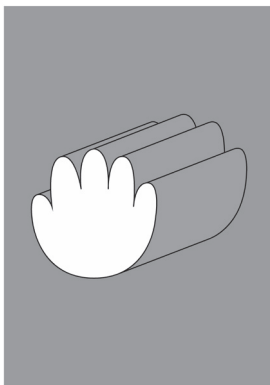
・ヴィジュアルデザインコースからの報告

- 2年生の学外研修として、株式会社プリテック様のご好意により、プリテック本社印刷工場の見学を行なった。実際に印刷機を稼働しながらの説明はとてもわかりやすく、印刷に対する知識や興味が広がった。

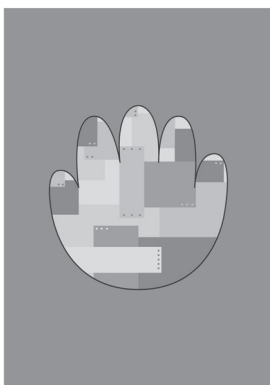
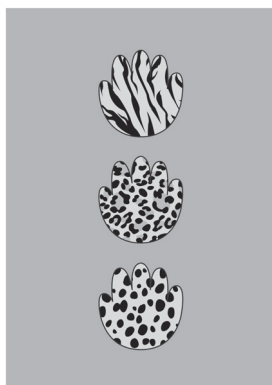




●全国の高校生以上の学生を対象としたポスターデザインコンペティション「JAGDA 学生グランプリ2018」にて、3年生・榊 奈々未さん、4年生・河瀬佳香さん2名が入選した。東京ミッドタウン・デザインハブにて展覧会も行われる予定。



●L Sコースと合同で、2年生がオープンキャンパス・ワークショップの企画・運営に参加した。学生の中に責任感や積極性がうまれるのを感じる事が出来た。ドのデザインを担当した。



●前期・最終週にコース内で参加者を募り、特別授業（ワークショップ）を2つ行なった（写真／モーショングラフィックス）。学生のなかに、新しい領域に対する好奇心が感じられ、今後の授業内容の参考にもなった。





・イラストレーションコースからの報告

- 本年度の授業では、制作内容を他者へ伝える意識を高めることを目的に、プレゼンテーションの充実を図った。緊張感も高めつつ、堂々と発表できるように学年ごとに段階的に高度な発表につながるよう計画している(写真は2年生プレゼンの様子)。



- コースに所属後の親睦を深めることも兼ね、6月2日に2年生を中心にコース学生で伊勢神宮および三重県立美術館「ぼくとわたしと みんなの tuperu tuperu 絵本の世界展」を見学した。美術館では、見学前に学芸員の鈴木麻里子氏の講義を受け、作家の制作に対するスタンスや作品の詳細について学び、より深く展示作品に触れる機会を得た。
- 8月25日、26日に開催される「こまぶんフェスタ(小牧市)」関連企画(音楽領域梶田美香教授:アウトリーチ実習)のカフェデザインを、4年生3名が担当した。カフェのロゴやコースター、メニュー表などのほか、フラッグによる空間の演出等も考案した(8月15日現在も制作中)。

・メディアデザインコースからの報告

メディアデザインコースでは、毎年春に学生の研究・制作に役立つための学外研修を行っている。今年度は6月に2年生は篠島を訪問し、その島で感じたことを収集して記録した。その後大学で自分だけの「篠島の肖像」をかたちづくる制作に取り組んだ。

他方、5月に音楽領域と共同で開催したイベント『平和のピアノ』において4年生の学生が制作した映像作品を上映した。



・メディアコミュニケーションデザインコースからの報告

豊橋市自然史博物館との新しい連携があった。〈夏の特別企画展 体感! 恐竜ワールド〉動く恐竜ロボットの背景画の制作制作で、制作期間が非常に短いなか豊橋市自然史博物館へも足を運び、文献などでそれぞれの恐竜の特質や生活や環境などのリサーチ、担当学芸員さんとの詳細にわたるチェックなどを繰り返し、対応力のある4年生のデジタルイラストチーム5名が4枚の背景壁画を完成させた。



6月中旬、東京研修を実施。文化庁メディア芸術祭、LOUIS VUITTONギャラリー、オペラシティギャラリー、G8、エスメスギャラリー、資生堂ギャラリー、資生堂パーラーのおしゃれなグラフィックデザインのお土産爆買いといういつもの強行スケジュールMCDルート。メディアアート&デザインの最先端からハイブランド企業ギャラリーの現代美術展、グラフィックデザインの最前線と田園風景に囲まれた環境で学ぶ名芸生には動く見る感じる体験は思考が活性化。メディア芸術祭の開催期間が変動的で前期中盤の東京研修は初めてだったが、2年生は授業で〈インスタレーション課題〉の制作中で体験が直結して有意義であった。

6月26日にクリエイティブディレクターの澁谷克彦氏の特別講義。澁谷氏は資生堂のインハウスデザイナーとして長年勤務され、AGI（国際グラフィック連盟）会員で影響力のある日本を代表するグラフィックデザイナーとして活躍されている。資生堂の広告媒体だけでなく広報誌「花椿」のアートディレクターをつとめられていた時の写真やフォントなど女子あこがれのグラフィックデザインワークの数々が紹介された。



連携協定を結んでいる大垣共立銀行より今年も映像コンテンツの制作の依頼があった。昨年制作の映像は2017年9月から1年間、大型の映像マルチディスプレイで流されている。MMDとMCD2つのコースの3年生がグループで映像作品を制作する。5月9日に現地視察。6月6日にはOKB総研の方々にお越しいただき11作品の中間プレゼンを実施。“エブリデーブラザテラッセ納屋橋”といわれるこの支店はシックな色調で、ラグジュアリーなインテリアでありながらも大型8面マルチディスプレイや、タッチパネルのディスプレイが随所に置かれ、落ち着いた中にも未来的なイメージでアクティブな新しい空間がデザインされています。この店舗はD S A日本空間デザイン賞2018 エンターテイメント&クリエイティブ・アート部門で入賞したと7月に報告がありました。店舗デザインに関わったのは本学SDの卒業生でクリエイティブデザインに名芸の新旧学生が共に大きく関わったことは喜ばしいことです。9月中旬には今年の映像に切り替わります。



・ライフスタイルブロック

デザインマネジメントコースからの報告

時代の流れのなかで変化する私たちの日常生活をしっかりと把握し、現在に真に必要なとされるデザインの在り方を模索していく。そのためのリサーチや思考、編集を重視するライフスタイルデザインコースでは、私たちの基層的な暮らしや思考、振る舞いの細部を観察することと同時に、現在進行形の世界や地域で何が起きているのか把握することも大切にしています。今期は、琵琶湖唯一の有人島である沖島でフィールドワークを行い、島ならではの「暮らし」の在り方を知ることができたのと同時に、産業構造の変化、人口減少や高齢化など、日本の地域が共有する課題を肌で感じる機会にもなりました。このフィールドワークに代表されるように、実際の生活の現場を訪れることでしか得られない実感に基づいた授業展開を大切にしたいと考えています。



・テキスタイルデザインコースからの報告

テキスタイルデザインコースは、大学近郊のテキスタイル産地と連携を深め、地元のテキスタイル産業に貢献するデザイナーを育成する産学連携プロジェクトを行ってきました。

有松絞り産地との連携は今年で9年目、伝統技法を受け継ぐ(株)張正、(有)久野染工場の協力のもと、学生がその技法を学び、手ぬぐいをデザインし、産地での染色から販売までのプロセスを体験しました。

6月2日、3日有松絞りまつりでは、「学生さんの手ぬぐいが欲しい」と毎年来てくださるリピーターもいて、300枚生産した手ぬぐいはほぼ売れました。また、この授業から生まれた卒業生の伊藤木綿さんと村口実梨さんのユニット「まり木綿」、泉奈穂さんの「samio」、(株)スズサンに勤める大橋真希さんも活躍していました。



尾州産地との連携は今年で3年目です。

6月26日羽島市から産地見学のバスを出していただき、製織、染色、後加工の三工場を見学しました。



7月3日尾州産地のテキスタイル企画(有)カナーレの足立聖氏による毛織物デザインの演習。

7月17日特別客員教授で(株)糸編代表の宮浦晋哉氏による講義「テキスタイル産業に新しい価値をもたらす活動」を聴講しました。学生は毛織物デザインのプレゼンテーションを行い、案は宮浦氏、足立氏によってブラッシュアップされました。大学で何回もサンプル織を繰り返してデザインを確定後、尾州産地の工場で毛織物を生産し、東京青山の展示会に出品する後期授業に続きます。



・インダストリアル&セラミック、 カーデザインコースからの報告

●受託研究

本年度は受託研究が多く、前期からすでに3件の受託研究に取り組み、後期から1件、さらに大学間の連携による研究の打診もあり社会とのつながりの大きな年になっています。

1件目は2015年から4回目になるナガサキ工業からの受託による鉄物雑貨の新製品開発プロジェクト。これはナガサキ工業の『アイアンラボ』ブランドで製品化を考えるプロジェクトでこれまでいくつかの学生作品が製品化されています。今年は1D3年生と4年生の1D、カーデザインの学生が取り組みました。作品は①自分の部屋に欲しいもの、②自分の趣味に役立つもの、③身近な人へのプレゼントの3つのテーマの中から提案をしました。前期中にデザイン案は出来上がり7月第2週にXギャラリーで作品展を行い、学生アンケートも実施しました。後期はこの製品化の検討、優秀者の表彰式などを計画しています。



(アイアンラボ作品展、アンケート実施の様子)

●2件目は新東工業株式会社から受託したロボットのデザイン。このロボットは新東工業株式会社+豊橋技術科学大学+社会福祉法人天竜厚生会が連携し開発を進めてきた介護施設や病院などのための介護コンシユルジュロボットで、施設内の見守りを目的としたロボット。本学ではこのためのデザイン案を1Dとカーデザインの4年生がコンセプトからスケッチ、1/2モデルを製作し、福祉施設内で展示しアンケートを実施しました。製品案はアンケートの1位1Dコース藤井千尋さんの案に決定しました。このデザインをプラスチック・クレイ工房で原寸モデルを製作、それをもとに、来年度には製品化され介護施設などで活躍する予定です。決定案のデザイナー藤井さんをはじめデザインの優秀学生は7月17日に表彰式を実施、記念品と表彰状の授与が行われました。



(ロボットデザイン プレゼンテーション)



(ロボットデザイン 表彰式)

そのほかにも昨年実施したシャチハタのプロジェクトから発展した文具デザインプロジェクトも進んでおり夏季休業期間中にはプレゼンテーションを終え製品化が検討されます。また後期には自動車関連メーカーとの連携も実施予定です。

I Dコース、カーデザインコースとも企業と連携することで実社会でのデザインの現場を知りプロのデザイナーとしてスムーズに仕事ができるよう力をつけています。

・スペースデザインコースからの報告

スペースデザインコースでは、できるだけ新旧の建築や町並みなど空間を体験し制作に活かして行くという考えもあり、コースの親睦をかねて春に全員で建築見学を行っています。今年度は、建築家の藤森照信氏設計の「ラコリーナ」近江八幡の古い町並みを見学しました。

氏のその土地と一体化したアイデアいっぱいの建築を味わい、大いに刺激を受けました。



スペースデザインコースでは、前期の授業の終盤にコースの活動を内外に知ってもらう為、また、それぞれの制作のフィードバックができるよう学内のギャラリーでコース展示を行っています。作品と空間が一体化した展示空間として、コース担当助手と共に学生自らで作りました。



・メタル&ジュエリーデザインコースからの報告

メタル&ジュエリーデザインコースでは来年度からの新体制に向けて「基礎造形力の強化」「国際化」をテーマに挙げて準備を進めています。

2018年度前期の活動報告としましては、ポーランドのニコラス・コペルニクス大学主催のオンライン国際メダルアートプロジェクト“Faith”に参加したことを報告いたします。プロジェクト参加大学はNational Academy of Art in Sofia

(ブルガリア)、Academy of Fine Arts of the University of Zagreb (クロアチア)、VAA Telsiai faculty of arts (リトアニア)、Art Academy of Latvia (ラトビア)、Faculty of Fine Arts Universidad Complutense de Madrid (スペイン)、Faculty of Fine Arts of the University of Lisbon (ポルトガル)、ARTISTIC SCHOOL ANTONIO ARROIO (ポルトガル)、ARTISTIC SCHOOL ANTONIO ARROIO (ポルトガル)、主催校である Faculty of Fine Arts at the Nicolaus Copernicus University in Toruń (ポーランド) と名古屋芸術大学(日本)の10校です。プロジェクトの概要は参加校は主催校であるニコラス・コペルニクス大学に参加者のメダル作品の画像を送り、ニコラス・コペルニクス大学がウェブサイトにもとめて配信するというものです。2009年から10回目の開催になります。



プロジェクト参加者(名古屋芸術大学)



プロジェクト参加者(ニコラス・コペルニクス大学)

・文芸・ライティングコースからの報告

文芸・ライティングコースでは、6月に学外授業として名古屋の書店巡りと展覧会鑑賞(スタジオジブリ鈴木敏夫「言葉の魔法展」)を行いました。展覧会では、言葉を用いた創作作品の展示方法を学び、書店で購入した本については、各自購入レポートおよび書評を執筆し、インターネットで公開する予定です。また、7月には、今年度の特別客員教授である石川雄一氏(岩崎書店編集者)に「本作りの現場から一児童書『ほねほねザウルス』ができるまで」というタイトルで講義をして頂きました。「文芸実技」と「文芸演習」の授業では、小説・絵本・シナリオ・キャッチコピーを創作しました。2年生は、自作のラジオドラマを持参して声優・アクティングコースとの交流会を行ないました。これまでに提出された作品は、後期の作品と合わせて編集し、レビュー展に向けて冊子にまとめる予定です。



芸術学部芸術学科芸術教養領域

2年目を迎えた芸術教養領域

芸術教養領域は、2017年4月に開設され、今年度2年目を迎えました。

名前の通り、「芸術」を含めた「教養」を幅広く身につけることを目指しています。教養とは、幅広い知識だけでなく、情報や言語を使いこなす技術、コミュニケーション力、問題発見・解決力など、社会のあらゆる分野で求められる必須の力です。そしてそこには、芸術に対

する理解や、芸術的感性も欠かせません。これらを身に付けるため、本領域では、リテラシー科目や実技科目、様々な分野の専門家の講義を聴くゲスト授業、プロジェクト授業をはじめとする各種演習科目を展開しています。

そんな芸術教養領域も、新入生を迎えてやっと2年目が揃い、賑やかになってきました。後輩を迎え入れ、ぐっと頼もしさを増した2年生と、芸術大学の新しい学

びに触れ、見るもの聞くもの何もかもが新鮮な1年生。教職員も含め、私たちは互いに刺激を受けながら大学生活を過ごしています。その中から、今回は、2018年度前半の活動をご報告します。

●新入生ウェルカムパーティー

■2018年4月2日(月)

■東キャンパスLAC

2018年度新入生を歓迎するため、新2年生が手作りカフェを開いてくれました。

注文してから淹れる本格的なコーヒーや、紅茶、フルーツピネガーなどのメニューが用意され、2年生と教職員が持ち寄った軽食をつまみながら、これから一緒に4年間を過ごす仲間たちと、和気あいのひと時が過ごせました。

カフェの後は、大学近くの五条川沿いにお花見に出かけました。散りかけの桜が川面に花筏をつくるのを眺めながら、素敵な大学生活のスタートが切れたようです。

●特別客員教授 橋本麻里氏の特別講義

■7月6日(金)

■西キャンパスB棟大講義室

芸術教養領域では、2018年度特別客員教授として、公益財団法人永青文庫副館長の橋本麻里氏をお招きしています。主に日本美術・工芸・現代美術をフィールドとして、ライター、エディターとしても活躍されており、著書も多数にのぼります。

7月6日には、橋本氏による特別講義「美術史の中の応仁の乱」を開催。前半は「ARSとARTの間」の小題目のもと、教養とは何かについても触れていただきました。単に多くの知識を蓄えるだけでなく、それらの相互関係を知ることで、点々とした知識を線で結び、それらの線が輻輳して面になることで、自分ながらの「知のマップ」を描くことが教養ではないか、という興味深いお話をいただきました。

橋下氏には、今年度冬にも、芸術教養領域のシリーズ公開講座「リベラルアーツ×X」(後述)において、「桃山—美と戦いの世紀」をテーマにご講演いただく予定です。

●「芸術教養レビュー」第1回展

■2018年7月13日(金)ー18日(水)

■西キャンパスA&Dセンター内ラウンジ

芸術教養領域2学年の学びの成果を、「芸術教養レビュー」展として発表しました。

2年生は、この領域とともに歩んできた16ヶ月間の学びをA2パネルにまとめるとともに、実技・演習・講義で学んだ成果を、実技作品やA3パネル、レポート集の形で発表しました。1年生は、実技科目「ヴィジュアルリテラシー1」「サウンドリテラシー1」で制作した作品の中から、自身が選んだ作品を展示しました。ポスター、写真集、レポート、ヴィジュアルボックス(箱の中に自分を表現)、オリジナル着信音など、芸術教養ならではのバラエティーに富んだ作品が並びました。

作品制作自体もさることながら、展示準備やプレゼンテーションなど、「学んだことを人に見せる」という経験

から、学生は多くのことを学びとったようです。

大学内外から多くの方に訪れていただき、「芸術大学の中の教養」という新しい試みの成果をご鑑賞いただきました。特に会期中の7月15日(日)はオープンキャンパスを兼ね、高校生のみなさんにも広く芸術教養の学びを紹介できました。

●公開講座「リベラルアーツ×X」

■2018年7月21日(日)

■アートラボあいち(名古屋市中区)

芸術大学にとって、リベラルアーツ(教養)とはなんなのか。今日のリベラルアーツをあらためて問うべく、後援会からの補助をいただき、「リベラルアーツ×X」(リベラルアーツかけるエックス)と題するシリーズ公開講座を、昨年度から引き続き開催しています。

この講座は、さまざまな分野で活躍する講師をお招きし、それぞれの専門と教養を掛け合わせてお話いただくもので、学外のアートラボあいちを会場として、広く一般の方々に大学の知を公開する場としています。2018年度は第4～6回の計3講座を予定しており、そのうち第4回目が7月21日に行われました。

講座に先立ち、本学音楽専攻の院生や学部生がマリimbaと打楽器のミニコンサートを開いてくれました。時に力強く、時に軽快な楽しい演奏に、会場の雰囲気も一気に打ち解けました。演奏者の衣装は、デザイン領域テキスタイルデザインコースのみなさんに制作いただきました。

続いて、芸術教養領域非常勤講師で、愛知県立芸術大学音楽学部教授でもある安原雅之先生が「1931(昭和6)年の名古屋におけるテルミン：リベラルアーツ×電子楽器」のタイトルでご講演くださいました。電子楽器の歴史と発展を、政治・社会・科学技術・音楽の発展など多側面から捉え、テルミンの実演も交えて分かりやすくお話くださいました。

「リベラルアーツ×X」は、この後も、以下の講師の方々をお招きして続きます(会場はいずれも、アートラボあいち)：

・第5回：2018年9月30日(日) 15:00～17:00
温又柔氏(小説家)

「リベラルアーツ×副(福?)言語」

・第6回：2018年12月9日(日) 15:00～17:00
橋本麻里氏(芸術教養領域2018年度特別客員教授／永青文庫副館長)「桃山—美と戦いの世紀：リベラルアーツ×美術史」

●夢ナビライブ名古屋

■2018年7月28日(土)

■ポートメッセなごや(名古屋市港区)

「夢ナビライブ」は、株式会社フロムページの主催で大阪・東京・名古屋・仙台・福岡の5会場で開催される、国公立・私立大学が多数集結する合同進学ガイダンスです。講義ライブ(さまざまな専門分野の大学教授が行う30分のミニ講義)、大学別相談ブース、夢ナビトーク(学問の面白さが3分でわかるプレゼンテーション)、学びステーション(各学問分野のPRブース)などが同時に行われる大規模イベントです。

芸術教養領域は今年初めて夢ナビライブ名古屋に参加し、「教養学」の学びステーションを担当。訪れた高校生に、「教養」という広い、しかし未来の自分の礎になる学問について、その魅力と必要性を紹介しました。また、領域主任の茂登山清文先生が夢ナビトークに出演し（講義ライブは台風接近のため残念ながら中止）、身近な写真を入り口に、芸術、教養、リテラシーとは何かを分かりやすく説明し、「見る力」を手に入れるヴィジュアルリテラシーが「新しい発想」を生み出してくれることを、観客席の大勢の高校生に語りました。

●「教養と芸術」研究会

芸術教養領域は、研究部門として「リベラルアーツ総合研究所」を併設しています。教養と芸術に関する諸課題について、学際的な視点から研究を進めています。その研究の成果を3か月に1度、「教養と芸術」研究会として定期的に内外に発表しています。2018年度前期は、5月と8月に計2回の研究会を行いました。主に映像と国語教育の分野での研究や実践について報告があり、アートと教養の社会における必要性や可能性に関して議論が行われました。

第3回

■2018年5月11日（金）

■名古屋芸術大学地域交流センター（テラスセ納屋橋内）

・小川真理子（名古屋芸術大学非常勤講師）「映像におけるオルタナティブの力——『アンダルシアの犬』試論——」

映像に表されるオルタナティブの力とは何か。前衛映画の代表作『アンダルシアの犬』（1928年）に焦点をあて、作品におけるスラップスティック・コメディの要素を足がかりに、ダダイズムに作品を動かし構成するオルタナティブの力を求める。

・青山太郎（名古屋文理大学 情報メディア学部）「アーティストック・リサーチに関する方法序説——映像作家ヴィンセント・ムーンの仕事を手がかりに——」

映像作家ヴィンセント・ムーンの近年の仕事を手がかりに、「アーティストック・リサーチ」というアプローチの方法論的可能性を検討する。

第4回

■2018年8月7日（火）

■名古屋芸術大学地域交流センター（テラスセ納屋橋内）

・松村美奈（名古屋芸術大学非常勤講師）「鑑賞する力」と文章表現——国語教育の一端として——」

世の中には映画や絵画、文学、演劇など鑑賞すべきものが沢山ある。いかに鑑賞し、文章によって表現するかという「鑑賞力」は、国語教育の中でどう指導されているのか。

=====

上記の講演会・研究会に見られるように、芸術教養領域は、幅広い分野の専門家との交流と協働を通じて、より学際的な刺激に満ちた環境をつくりたいと考えています。同時に、学生と教職員が、どのような分野の話題であっても気楽に語り合える、アットホームな場でもありたいと願っています。

その努力の甲斐もあってか、今年度は、2017年度より大幅に新入生数が伸びました。後期には、入試やオープンキャンパス、入学予定者に対するスクーリングが続きます。私たちのカリキュラムポリシー、「視聴覚メディアと言語、情報のリテラシーを修得し、少人数ゼミとプロジェクト授業を通して、世界と現代社会の問題を発見・設定して、その解決に取り組むスキルを修得できる」に則り、今後も着実に誠実に教育を続けていくことで、領域と、芸大全体の発展を目指していきます。

芸術教養領域 芸術教養領域主任 茂登山清文



人間発達学部

人間発達学部は開設されて12年目を迎えました。芸術大学の中の【教育・保育系学部】としての特色を活かす為、今年度より4コース制『保育・幼児教育』『学校教育』『発達福祉』『子ども芸術』がスタートしました。「子ども・ファンデーション科目」(1年次)で、なりたい自分を明確にし、2年次よりいずれかのコースに移行し、より高い専門性を求めた教育・保育者養成を行います。従来の三つの免許・資格を取得するシステムをベースにし、「子ども・ファンデーション」に始まり『子ども芸術』コースに見られるように、学生指導を強化発展させるものです。

一昨年の入試改革の成果から、音楽面で秀でた学生が多く入学しています。その対応として7月28日にサマーコンサートを計画しましたが、あいにく台風で中止になってしまいました。このプログラムは改めて11月3日に開催の「芸祭コンサート」2月2日開催の「春を呼ぶ芸術フェスティバル」に振り替えて実施します。また、特別指定クラブ吹奏楽部では、芸術学部の学生と共に楽しむ学生が多く、専門の先生にレッスンを受ける機会もあり、色々な分野で学部間の隔たりが無くなってきました。芸術的環境を活かし、学生個々の得意分野をさらに伸ばし発表できる場を多く設定しています。今後は音楽面だけでなく、美術部門や多方面での活躍の場や発表の場を広げ、学生の何らかの期待に応えられる行事を実行できるよう努力いたします。

学部学生は相変わらず元気いっぱい楽しく意欲を持って学生生活を過ごし、自分の将来の目的達成に向けて頑張っております。昨年度の就職率は100%と特に公立保育園採用試験において多くの学生が合格しております。今年度は、例年実施している面接対策講座を行い、教員採用試験対策学習会や教員育成セミナーも追加しました。途中経過ですが、今年度も既卒も含め他大学に負けない就職実績を持続しています。

学部行事

新入生オリエンテーションセミナー

今年度は、4月3日～4日学内で新入生オリエンテーションを行いました。このセミナーは、例年通り4年生のスタッフが、企画・進行等を担当しています。全体会では教員・4年生スタッフの紹介、造形実技の講義や4年生から新入生へのメッセージがありました。全体会のあとは、1年次のゼミナール「入門演習」のグループに分かれてゼミ活動です。新入生にとって4年生スタッフは



優しく頼もしい存在で楽しい時間を過ごしました。そして、「なぜ、保育者・教育者を目指したのか」というテーマで討論をしました。翌日は、セミナーの締めくくりのゼミ発表です。ゼミ活動で討論したことを、歌にしたり寸劇にしたりと、工夫されていました。

文化創造セミナー

6月7日(木)1号館702で、文化創造セミナー【環境が変わるフィンランド教育】が行われました。今回のゲスト講師は、フィンランド在住で幼稚園教諭のアンティライネン千里先生を迎えて開催されました。OECD学習調査PISAでトップレベルの学力を示し、世界的に注目されているフィンランド教育の実情を説明されました。先生と子どもの数の比較、キッズスキル、ポジティブ教育、3歳児から5歳児の1日の時間割等、柔軟性のある時間割や落ちこぼれを作らない教育、教師の自立性が尊重されている等、個性を重視した保育が説明されました。また、日本の保育との違いや多様な子ども達の問題等、学生たちが興味深く聞けるよう説明していただきました。質疑応答では、「先生はなぜ日本ではなくフィンランドで教師をしているの?」という素朴な質問から始まりいくつかの積極的な質問が出て「ありのままの自分でいること、他人のありのままを受け入れること」等、丁寧に答えていただきました。海外の保育に対して非常に興味を持つ学生が多くいることが改めて分かった有意義なセミナーでした。「KITTOS(ありがとう)」という先生の言葉で締めくくられ暖かい雰囲気の中で終了いたしました。



人間発達学部長 星野英五

学務部報告

今回は、学務部報告といたしまして、平成29年度就職状況、CAP制の2点についてご報告・説明をさせていただきます。

平成29年度の就職状況でございますが、平成25年度以降、景気回復が続き、求職側の学生が優位な、いわゆる「売り手市場」が続いており、本学においても好調な就職状況となっております。学部別の就職状況についてご報告いたします。

音楽学部の就職率は、96.7%でございました。昨年度が94.0%でしたので、2.7%の向上がありました。特色といたしましては、平成29年度は、公立学校教員に14名が採用され、愛知県における中学校・高等学校の音楽の教員採用が非常に少ない中、トップクラスの実績をあげております。また、音楽講師、音楽家の合計が20名と、専門性を活かした進路選択が可能となっております。一般企業についても、ヤマハ、カワイ、各地の音楽ホール、劇場等、本学における学びを活かした就職が多いことが特色となっております。

人間発達学部の就職率は、100%を達成いたしました。ちなみに昨年度は98%でございました。特色といたしましては、人間発達学部は教員養成・保育系学部でございますので、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の資格を活かした就職が中心であることです。内訳については、公立小学校教員14名、私立幼稚園4名、認定子ども園3名、保育所等へ48名が就職しており、卒業生93名に対して約74%が本学で取得した免許・資格による就職をしています。

美術学部・デザイン学部の就職率は、それぞれ、91%、89%で合計しますと、89.5%でございました。昨年度は、美術学部90%、デザイン学部88.9%でございました。美術学部の進路の特徴といたしましては、2つのポイントがございます。1つは、大学院等への進学が12名で、卒業生77名に対して約15%にのぼる点です。一般の文系学生の大学院への進学率は、5%前後ですので、かなり高率であると言えます。さらに深く専門性を追求したい学生が多いのだと思われます。もう一点は、就職に関しまして、フリーランス・作家活動9名、公立学校教員5名、一般企業38名の実績でございますが、一般企業38名中の約半数は、デザイナー等の専門職として就職しており、専門性を活かした就職ができていますと考えております。デザイン学部の進路の特色といたしましては、就職希望者の内、一般企業へ約93%の学生が就職し、その内訳につきましても、デザイナー等のクリエイティブ職78名、専門技術職10名で、就職全体の139名中、実に63%の学生が、専門分野への就職をはたしている事です。

次に本学の大学院の進路状況についてご報告をいたします。

本学の大学院には、音楽研究科、人間発達研究科、美術研究科、デザイン研究科の4研究科がございます。平成30年3月の修了生は、音楽研究科が10名、人間発達研究科は1名、美術研究科が17名、デザイン研究科が4名で、就職率につきましては、それぞれ就職希望者に対して100%でございました。特色といたしましては、専門性を活かした就職、教育関係へ就職が多いことだと言えます。

次にCAP制についてご説明をいたします。

現在では多くの大学が導入をしていますが、私が大学生の頃にはなかった制度にCAP制(キャップ制)があります。CAP制は1年間に履修登録することができる単位数を上限を設ける制度で、本学では年間48単位を履修登録の上限としています。私が大学生の頃は、このような制度は無く、年間60単位程度を履修登録するのが普通でした。大学の卒業要件単位数は一般的に124単位が多いですから、1・2年次で120単位程度を取得し3・4年次は必修科目とゼミのみという学生も多かったと思います。

では、何故CAP制が必要なのでしょう。CAP制考案方は、すでに平成11年の大学設置基準の改正で「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は一学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるよう努めなければならない。」と規定されていたのですが、平成24年の中央教育審議会答申(質的転換答申)において「教員や学生が個々の授業科目の充実や学修にエネルギーを投入し、学修意欲を高めて主体的な学修を確立するために、各授業科目の内容・方法の改善、授業科目の整理・統合や相互連携、履修科目の登録の上限の適切な設定等に取り組むことが必要」とされたことを受け、より厳格に適用することが必要となった訳です。

CAP制と大きく関連するのが単位制度です。単位制度について少し詳しくお話をしますと、大学設置基準に「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する」と規定されており、一般的な講義科目であれば、半期15回の授業で2単位となっておりますので、45時間×2単位=90時間の学修が必要となります。90時間の内訳は1回2時間の授業が15回で30時間ですから、残り60時間は「授業を受けるための予習・復習・課題等の授業以外の学修となります。つまり、1つの授業を履修するには、授業時間以外に週当たり4時間(60時間÷15週)の自宅等における学修が必要となります。

仮に、半期で30単位(15科目)を履修したとすると、週当たり60時間(4時間×15科目)の学修が必要となり、月曜日～土曜日まで毎日10時間の自宅等における学修が必要になりますので、帰宅後の時間を考えますと、まさに「寝る暇もない」こととなります。そこで履修登録単位数に上限を設けて、多くの単位を取得するのではなく、1単位の内容を充実したものにするためにCAP制を導入することが必要になります。以上、CAP制についてご説明をさせていただきますが、併せてCAP制についての注意点をお話しします。本学においては、履修単位数の上限を48単位としていますので、3年次終了時点で、取得済み単位数が76単位未満の場合、その時点で留年が確定してしまう(卒業要件単位数が124単位の場合)可能性があるということです。この点については、ぜひご留意いただきたいと思います。

最後に、後援会の皆様からのご支援に対して心から感謝を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、学務部の運営に努めてまいります。ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

学務部長 山田芳樹

■2018年度学生数

2018年5月1日現在 **総学生数 1,912人**

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
芸術学部	音楽領域	45	90	135	31	66	97							232
	美術領域	17	61	78	10	62	72							150
	デザイン領域	88	138	226	53	112	165							391
	芸術教養領域	3	13	16	1	3	4							20
	芸術学部小計	153	302	455	95	243	338	0	0	0	0	0	0	793
音楽学部	演奏学科	0	0	0	1	0	1	8	26	34	7	37	44	79
	音楽文化創造学科	0	0	0	4	3	7	18	51	69	28	35	63	139
	音楽学部小計	0	0	0	5	3	8	26	77	103	35	72	107	218
美術学部	美術学科	0	2	2	0	2	2	23	56	79	30	70	100	183
デザイン学部	デザイン学科	1	0	1	4	11	15	58	128	186	63	113	176	378
人間発達学部	子ども発達学科	20	44	64	16	59	75	16	52	68	23	70	93	300
学部生合計		174	348	522	120	318	438	123	313	436	151	325	476	1872

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音楽研究科	0	6	6	2	7	9	15
美術研究科	0	3	3	3	5	8	11
デザイン研究科	2	3	5	4	1	5	10
人間発達学研究科	0	1	1	2	1	3	4
大学院生合計	2	13	15	11	14	25	40

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部 / 芸術学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代) 西キャンパス (美術学部・デザイン学部 / 芸術学部) 0568-24-0325 (代)	
成績について 証明書発行について 休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	教務学生課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について 就職について	キャリアセンター		
交換留学について	国際交流センター(国際交流センター室)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

2018年度 年間行事予定表【音楽学部/音楽領域/芸術教養領域】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	1	日	入学式	
	2	月	オリエンテーション(4/2~4/7)	
			↓	
	7	土		
	9	月	前期授業開始	
	12	木	前期履修登録変更機関(4/12~4/13)	
	13	金	↓	
	21	土	ファーストイヤーセミナー	
	29	日	休校 昭和の日	
	30	月	休校 振替休日	
5月	1	火	休校 開学記念日	
	2	水	休校 臨時休校日	
	3	木	休校 憲法記念日	
	4	金	休校 みどりの日	
	5	土	休校 こどもの日	
	28	月	教育実習(5/28~6/16)	
	6月	9	土	オープンキャンパス
		22	金	前期実技試験曲目提出期間(6/22~7/5)
7月			↓	
	5	木		
	15	日	オープンキャンパス	
	16	月	海の日 授業日	
	21	土	研究生考査 9月入学生	
30	月	前期試験期間(7/30~8/1)		
8月			↓	
	1	水		
	2	木	前期実技試験(8/2~8/3)	
	3	金	↓	
	4	土	音楽講習会(8/4~8/7)	
	6	月	集中講義期間(8/6~8/10)	
	7	火	↓	
			↓	
	10	金		
	11	土	休校 山の日	
	16	木	前期試験成績発表	
	18	土	オープンキャンパス	
	22	水	前期追再試験期間(8/22~8/24)	
	24	金	↓	
30	木	前期追再試験合否発表		
9月	2	日	AO入試	
	12	水	後期卒業判定会議	
	17	月	休校 敬老の日	
	19	水	後期履修登録	
	20	木	後期授業開始	
	23	日	休校 秋分の日	
	24	月	振替休日 授業日	
	26	水	後期履修登録変更期間(9/26~9/28)	
			↓	
	28	金		
	29	土	オープンキャンパス	

月	日	曜日	後期行事予定
10月	8	月	体育の日 授業日
	13	土	超領域入試
	20	土	AO入試
11月	2	金	芸大祭(11/2~11/5)
	3	土	休校 文化の日
	4	日	オープンキャンパス
	5	月	↓
	22	木	休校 学校創立記念日
	23	金	勤労感謝の日 授業日
	24	土	指定校推薦/推薦入試
	26	月	後期実技試験曲目提出期間(11/26~12/7)
12月			↓
	1	土	オープンキャンパス
	7	金	↓
	15	土	AO入試/自己推薦入試
	22	土	音楽講習会(12/22, 23, 25, 26)
	23	日	休校 天皇誕生日
	24	月	振替休日 授業日
29	土	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)	
1月			↓
	3	木	
	14	月	休校 成人の日
	22	火	実技試験期間(1/22~1/24)
			↓
	24	木	
	25	金	後期試験期間(1/25~1/28)
			↓
	28	月	
	29	火	集中講義期間(1/29~2/1)
2月			↓
	1	金	
	4	月	大学院入試
	5	火	一般A日程入試
	6	水	一般A日程/社会人/3年編入入試 後期試験成績発表
	9	土	後期追再試験期間(2/9~2/13)
			↓
	11	月	休校 建国記念の日
			↓
	13	水	
3月	21	木	後期追再試験合否発表
	27	水	卒業判定会議
	6	水	進級判定会議
	11	月	研究生考査 4月入学生
	21	木	休校 春分の日
	22	金	卒業式
	25	月	一般B日程入試
	27	水	新年度オリエンテーション予定(3/27~3/28)
	28	木	↓

2018年度 年間行事予定表【美術学部/美術領域/デザイン学部/デザイン領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	日	入学式
	2	月	オリエンテーション(4/2~4/7)
		}	
	7	土	↓ 健康診断・新入生歓迎会
	9	月	前期授業開始
	30	月	休日 振替休日
5月	1	火	休日 開学記念日
	2	水	休日 臨時休校日
	3	木	休日 憲法記念日
	4	金	休日 みどりの日
	5	土	休日 こどもの日
	20	日	後援会総会・教育懇談会
6月	9	土	オープンキャンパス
7月	15	日	オープンキャンパス
	16	月	海の日 授業日
	21	土	AO入試第1回体験授業、研究生考査
	28	土	AO入試第2回体験授業
	29	日	一日芸大生
	30	月	試験期間(7/30~8/1)
8月	1	水	↓
	2	木	補講・集中講義日(8/2~8/10)
		}	
	10	金	↓
	11	土	休日 山の日
	16	木	前期試験成績発表(13:00)
	22	水	追再試験(8/22~8/24)
		}	
	24	金	↓
	30	木	前期追再試験可否発表(13:00)
9月	2	日	AO入試
	12	水	前期卒業判定会議
	18	火	後期オリエンテーション
	19	水	後期履修登録
	20	木	後期授業開始
	24	月	振替休日 授業日
	26	水	前期卒業式
	29	土	オープンキャンパス(全学部)

月	日	曜日	後期行事予定
10月	8	月	体育の日 授業日
	13	土	超領域入試
	18	木	防災訓練(予定)
11月	2	金	芸大祭(11/2~11/4) 休講
		}	
	4	日	↓ ミニオープンキャンパス
	5	月	芸大祭後片付け 休講
	22	木	休校 学院創立記念日
	23	金	勤労感謝の日 授業日
12月	24	土	指定校・推薦入試
	15	土	自己推薦入試
	24	月	振替休日 授業日
	29	土	冬期一斉休業期間(休校)(12/29~1/3)
		}	
1月	3	木	↓
	14	月	休校 成人の日
	22	火	補講・集中講義日(1/22~1/24)
		}	
	24	木	↓
	25	金	後期試験期間(1/25~1/28)
		}	
	28	月	↓
	29	火	補講・集中講義日(1/29~2/1)
2月		}	
	1	金	↓
	4	月	大学院入試、研修生考査
	5	火	一般A日程入試
	6	水	一般A日程・社会人・3年編入入試 後期試験成績発表(13:00)
	9	土	追再試験
	11	月	休校 建国記念の日
	12	火	追再試験
	13	水	追再試験
	21	木	後期追再試験可否発表(13:00)
	27	水	卒業判定会議
3月	2	土	オープンキャンパス(予定)
	6	水	進級判定会議
	11	月	研究生考査
	21	木	春分の日
	22	金	卒業式
	25	月	一般B日程入試
	28	木	新年度オリエンテーション(予定)

2018年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	日	入学式
	2	月	オリエンテーション(4/2~4/7)
	7	土	↓
	9	月	前期授業開始
	12	木	前期履修登録変更期間(4/12~4/13)
	13	金	↓
	29	日	休校 昭和の日
	30	月	休校 振替休日
5月	1	火	休校 開学記念日
	2	水	休校 臨時休校日
	3	木	休校 憲法記念日
	4	金	休校 みどりの日
	5	土	休校 こどもの日
6月	9	土	オープンキャンパス
7月	15	日	オープンキャンパス
	16	月	海の日 授業日
	21	土	研究生考査 9月入学生
	30	月	前期試験期間(7/30~8/1)
8月	1	火	↓
	6	月	集中講義期間(8/6~8/10)
	10	金	↓
	11	土	休校 山の日
	16	木	前期試験成績発表
	18	土	オープンキャンパス
	22	水	前期追再試験期間(8/22~8/24)
	24	金	↓
	30	木	前期追再試験合否発表
9月	2	日	AO入試
	6	木	後期履修登録(9/6~9/7)
	7	金	↓
	10	月	3年生補講(9/10~9/14)
	14	金	↓
	17	月	休校 敬老の日
	20	木	後期授業開始
	22	土	特別公開講座
	23	日	休校 秋分の日
	24	月	振替休日 授業日
	26	水	後期履修登録変更期間(9/26~9/28)
	28	金	↓

月	日	曜日	後期行事予定
10月	1	月	教育実習(幼:10/1~10/22)(小:10/1~10/26)
	8	月	体育の日 授業日
	13	土	超領域入試
	20	土	AO入試
	22	月	↓
	26	金	↓
11月	2	金	芸大祭(11/2~11/5)
	3	土	休校 文化の被
	4	日	オープンキャンパス
	22	木	休校 学院創立記念日
	23	金	勤労感謝の日 授業日
	24	土	指定校推薦/推薦入試
12月	1	土	オープンキャンパス
	15	土	AO入試/自己推薦入試
	23	日	休校 天皇誕生日
	24	月	振替休日 授業日
	25	火	3年生補講(12/25~12/28)
	28	金	↓
	29	土	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
1月	3	木	↓
	14	月	休校 成人の日
	22	火	3年生補講(1/22~1/24)
	24	木	↓
	25	金	後期試験期間(1/25~1/28)
	28	月	↓
	29	火	集中講義期間(1/29~2/1)
2月	1	金	↓ 3年生補講
	4	月	大学院入試
	5	火	一般A日程入試
	6	水	一般A日程・社会人・3年編入入試 後期試験成績発表
	9	土	後期追再試験期間(2/9~2/13)
	11	月	休校 建国記念の日
	12	火	↓ 保育所実習・地域活動(2/12~2/23)
	13	水	↓
	21	木	後期追再試験合否発表
	23	土	↓
	27	水	卒業判定会議
3月	3	日	教育・保育プレゼンテーション入試
	6	水	進級判定会議
	11	月	研究生考査 4月入学制
	21	木	休校 春分の日
	22	金	卒業式
	25	月	一般B日程入試
	27	水	新年度オリエンテーション予定(3/27~3/28)
	28	木	↓

就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。

※キャリアサポート室では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2018年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
デ ィ シ ョ ン	3・4年生	進路選択前のキャリアプラン(就職するとは)リクナビ	
4	全学年	カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
		第1回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
	4年生	教員採用試験全体説明会	音楽講師希望者
		愛知県教員採用試験説明会	愛知県受験者
		作文添削	
5	全学年	第2回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認・インターンシップ)	
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認・インターンシップ)	
4年生	名古屋市教員採用試験説明会		
6	全学年	第3回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	自己分析・適性検査	
		教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座)について	
7	3年生	企業研究(業界・業種研究)とはA	
		企業研究(業界・業種研究)とはB	
8・9	全学年	自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方	
		夏期休業期間中の準備活動についてA	
		ホール・文化財団等就職セミナー	
8・9	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座 実施	講座受講希望者
デ ィ シ ョ ン	3・4年生	就職活動準備ガイダンス(就職活動準備・履歴書等)マイナビ	
9	全学年	第4回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認・履歴書・エントリーシート)	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	教員希望者
11	全学年	第5回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	自己分析・履歴書・エントリーシート対策	
		履歴書・エントリーシート対策	
		就職採用試験【筆記試験・適性検査・SPI】対策A	
就職採用試験【筆記試験・適性検査・SPI】対策B			
12	3年生	ワークルール 働く上での基礎知識	
		面接対策ガイダンスA	
		面接対策ガイダンスB	
		集団面接対策	
		コミュニケーションが苦手な人の就活セミナー	
1	全学年	第6回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)	
希望別就職活動ガイダンス(教員希望者)			
春 季 休 暇	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座 実施	講座受講希望者
通 年	4年生	ハローワーク訪問・業者求人紹介	企業希望者

《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容
3・4	全学年	就職活動オリエンテーション
4	3年生	スタートアップ講座
		ポートフォリオ対策①
	4年生	自己分析・自己発見のための職務適性検査の実施 教員採用試験全体説明会(東京アカデミー) 愛知県 教員採用試験説明会
5	1・2年生	業界セミナー①
		業界セミナー②
		業界セミナー③
	3年生	インターンシップ講座(導入)
4年生	名古屋市 教員採用試験説明会	
インターンシップ2・3・4年希望者	夏季インターンシップ<ガイダンス授業 インターンシップの流れ等> 夏季インターンシップ<ガイダンス授業 業種・職種・企業研究等> 夏季インターンシップ参加申込受付	
6	1・2年生	業界セミナー 画家・イラストレーター・美術家 梅津諭氏
		インターンシップ講座(実践)
	3年生	職務適性検査結果の解説 自己分析ガイダンス 公務員教員になるためには
		ワークルールの基礎知識 WEB模擬テスト①
4年生	ワークルールの基礎知識	
留学生	日本で就職するためには	
7	3年生	ポートフォリオ対策②
		4年生による就職活動体験パネルディスカッション
	4年生	ビジネスマナー
インターンシップ2・3・4年希望者	求人フェア・ハローワーク説明会就職活動リスタート講座(未内定者へ就職先の紹介等) 夏季インターンシップ<ガイダンス授業 ビジネスマナー講習(事前研修)>	
8・9	インターンシップ2・3・4年希望者	夏季インターンシップ研修実施
9	1・2年生	マイコンパス(自己分析)
	3年生	後期スタートアップ インターンシップ振り返り 筆記試験対策 模擬テスト受験
	4年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
10	3年生	業界研究
	4年生	デザイン業界研究 求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
11	3年生	広告・WEB・マスコミ業界研究
		キャリア&マネープラン卒業後の仕事とお金に関する知識 WEB模擬テスト②
	4年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等)
		キャリア&マネープラン卒業後の仕事とお金に関する知識
インターンシップ2・3・4年希望者	春季インターンシップ<ガイダンス授業 インターンシップの流れ等> 春季インターンシップ<ガイダンス授業 業種・職種・企業研究等> 春季インターンシップ参加申込受付	
12	3年生	ポートフォリオ対策③ 自己PR作成 履歴書・エントリーシートの書き方 スーツの着こなし
	4年生	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等) スーツの着こなし
1	3年生	進学(大学院・研究生)について
		4年生内定者との業界別座談会
		面接対策
		ビジネスマナー
4年生	ポートフォリオ個別アドバイス会	
	グループディスカッション対策 WEB模擬テスト③	
インターンシップ2・3・4年希望者	求人フェア(未内定者へ就職先の紹介等) 春季インターンシップ<ガイダンス授業 ビジネスマナー講習(事前研修)>	
2	3年生	直前対策① サイトの確認 求人NAVIの使い方
		直前対策② 振返り・合説まわり方
	4年生	WEB模擬テスト④
2・3	インターンシップ2・3・4年希望者	求人フェア・ハローワーク登録(未内定者へ就職先の紹介等) 春季インターンシップ研修実施
3	3年生	WEB模擬テスト⑤

※4～3月/各種就職支援・資格取得講座の実施 不定期/新卒向け学内企業説明会実施

《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象
4	3・4年生	進路選択前のキャリアプラン(就職するとは)リクナビ	
	全学年	第1回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
4	4年生	公務員試験説明会(保育職)	公務員受験者全員
		教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
		愛知県教員採用試験説明会	愛知県受験者
		作文添削	
5	全学年	第2回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認・インターンシップ)	
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認・インターンシップ)	
	4年生	名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市受験者
幼稚園・保育所・施設への就職活動について		幼保・施設希望者	
6	全学年	第3回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	自己分析・適性検査	
		教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座)について	
		企業研究(業界・業種研究)とはA	
3・4年生	企業研究(業界・業種研究)とはB		
	愛知県私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	幼稚園希望者	
7	3年生	自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方	
		夏期休業期間中の準備活動についてA	
8・9	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座 実施	講座受講希望者
10	3・4年生	就職活動準備ガイダンス(就職活動準備・履歴書等)マイナビ	
9	全学年	第4回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認・履歴書・エントリーシート)	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	小学校希望者
11	全学年	第5回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	自己分析・履歴書・エントリーシート対策	
		履歴書・エントリーシート対策	
		就職採用試験【筆記試験・適性検査・SPI】対策A	
就職採用試験【筆記試験・適性検査・SPI】対策B			
12	全学年	作文添削	
		ワークルール 働く上での基礎知識	
	3年生	面接対策ガイダンスA	
		面接対策ガイダンスB	
		集団面接対策	
コミュニケーションが苦手な人の就活セミナー			
1	全学年	第6回就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)	
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(教員希望者)	
春季 保蔵	講座受講者	各種就職支援講座・資格取得講座 実施	講座受講希望者
通年	全学年	教員採用試験対策学習会	小学校希望者
	4年生	ハローワーク訪問・業者求人紹介	企業校希望者

■2017年度進路状況

音楽学部

2018年5月1日現在

		演奏		音楽創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就職関係	公立学校教員	0	11	0	3	0	14	14	
	私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の教育機関(海外等)	0	0	0	1	0	1	1	
小計		0	11	0	4	0	15	15	
福祉関係	福祉施設等(音楽療法士等)	0	1	0	1	0	2	2	
	小計	0	1	0	1	0	2	2	
就	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	2	0	0	0	2	2
		楽器店講師	1	4	0	0	1	4	5
		自宅教室(ピアノ)	0	0	0	0	0	0	0
		自宅教室(他)	0	0	0	0	0	0	0
		幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0
小計		1	6	0	0	1	6	7	
音楽家	奏者(フリー)	1	2	5	4	6	6	12	
	ミュージカル・アーティスト	0	0	0	1	0	1	1	
小計		1	2	5	5	6	7	13	
一般企業		3	11	6	16	9	27	36	
各種団体等		0	0	0	0	0	0	0	
小計		3	11	6	16	9	27	36	
公務員	行政職	1	0	0	0	1	0	1	
	その他	0	1	0	0	0	1	1	
小計		1	1	0	0	1	1	2	
合計		6	32	11	26	17	58	75	
進学	大学院	0	4	0	0	0	4	4	
	研究生	0	6	1	0	1	6	7	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	0	0	1	0	1	0	1	
合計		0	10	2	0	2	10	12	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	3	0	3	3	
合計		0	0	0	3	0	3	3	
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	1	1	1	1	2	3	
合計		0	1	1	1	1	2	3	
総合計		6	43	14	30	20	73	93	

卒業生数(9月卒業なし)	6	43	14	30	20	73	93
就職・進学希望者数	6	43	14	27	20	70	90
就職・進学者数	6	42	13	26	19	68	87
就職・進学率	100%	97.7%	92.9%	96.3%	95.0%	97.1%	96.7%
	98.0%	95.1%	96.7%				

美術学部・デザイン学部

2018年5月1日現在

		美術学部 美術学科		デザイン学部 デザイン科		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
教育関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含)	1	3	0	3	1	6	7	
	私立学校教員(常勤・非常勤講師含)	0	1	0	0	0	1	1	
	小計	1	4	0	3	1	7	8	
フリーランス・作家活動		3	6	2	5	5	11	16	
小計		3	6	2	5	5	11	16	
就	一般企業等(職種別)	クリエイティブ職(デザイナー職等)	1	11	20	58	21	69	90
		専門技術職(機械設計職等)	1	2	4	6	5	8	13
		総合職	2	1	1	8	3	9	12
		販売職	3	4	1	15	4	19	23
		営業職	0	2	1	5	1	7	8
		事務職	0	3	0	2	0	5	5
		上記以外のその他(法人等)	0	8	2	6	2	14	16
小計		7	31	29	100	36	131	167	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	
合計		11	41	31	108	42	149	191	
進学	大学院	1	6	1	0	2	6	8	
	研究生	0	1	1	0	1	1	2	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門)	2	2	0	0	2	2	4	
合計		3	9	2	0	5	9	14	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	5	1	7	3	12	15	
合計		2	5	1	7	3	12	15	
活動中(調査中)	講師登録・その他	4	2	4	14	8	16	24	
合計		4	2	4	14	8	16	24	
総合計		20	57	38	129	58	186	244	

卒業生数(9月卒業含む)	20	57	38	129	58	186	244
就職・進学希望者数	18	52	37	122	55	174	229
就職・進学者数	14	50	33	108	47	158	205
就職・進学率	77.8%	96.2%	89.2%	88.5%	85.5%	90.8%	89.5%

人間発達学部

2018年5月1日現在

		子ども発達学科		総計
		男	女	
教育関係	公立学校教員	10	4	14
	公立幼稚園教員	0	0	0
	私立幼稚園教員	0	4	4
	その他の教育機関	0	0	0
小計		10	8	18
就	認定こども園	1	2	3
	小計	1	2	3
福祉関係	公立保育所(正職)	2	12	14
	私立保育所	3	16	19
	福祉施設(保育士等)	5	7	12
	学童保育所(クラブ)	2	1	3
小計		12	36	48
一般企業		4	15	19
各種団体等・その他		0	0	0
小計		4	15	19
公務員	その他	0	0	0
小計		0	0	0
合計		27	61	88
進学	大学院	0	1	1
	研究生	0	0	0
	海外(留学)	0	0	0
	その他(大学・専門等)	0	1	1
合計		0	2	2
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	2	2
	その他	0	1	1
合計		0	3	3
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	0	0
合計		0	0	0
総合計		27	66	93

卒業生数(9月卒業含む)	27	66	93
就職・進学希望者数	27	63	90
就職・進学者数	27	63	90
就職・進学率	100.0%	100.0%	100.0%

CONCERT GUIDE

2018年度 名古屋芸術大学 演奏会案内

9 September

ウィンドオーケストラ第37回定期演奏会
日 時/2018年9月16日(日) 15:30開演
会 場/豊田市コンサートホール
入場料/一般500円・大学生以下無料

10 October

研究生特別演奏会
日 時/2018年10月25日(木) 18:00開演
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入場料/無料 (全自由席)

11 November

第41回定期演奏会
日 時/2018年11月8日(木) 18:00開演
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

室内楽の夕べ 2018 (第一夜)

日 時/2018年11月27日(火) 17:30開演
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

12 December

室内楽の夕べ 2018 (第二夜)

日 時/2018年12月1日(土) 15:00開演
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入場料/無料 (全自由席)

Earth Echo 電子オルガン第21回定期演奏会

日 時/2018年12月6日(木) 18:30開演
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

オーケストラ第36回定期演奏会

日 時/2018年12月12日(水) 18:30開演
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/一般500円・大学生以下無料

2 February

研究生修了演奏会
日 時/2019年2月7日(木) 18:00開演
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

第17回 歌曲の夕べ

日 時/2019年2月8日(金) 18:30開演
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

大学院音楽研究科特別演奏会

日 時/2019年2月9日(土) 14:00開演
会 場/名古屋芸術大学
東キャンパス 音楽講堂
入場料/無料 (全自由席)

Kaleidoscope2019

日 時/2019年2月16日(土) 16:00開演
会 場/名古屋芸術大学
東キャンパス 2号館 3F
入場料/無料 (全自由席)

3 March

ピアノのしらべ 第23回 春のコンサート
日 時/2019年3月1日(金) 17:30開演
会 場/熱田文化小劇場
入場料/無料 (全自由席)

第46回卒業演奏会

日 時/2019年3月7日(木) 17:00開演
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

ジャズポップスコース卒業演奏会

日 時/2019年3月9日(土) 15:00開演
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入場料/無料 (全自由席) 整理券なし

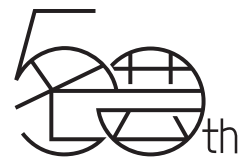
第21回大学院音楽研究科修了演奏会

日 時/2019年3月10日(日) 15:00開演
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
入場料/無料 (全自由席)

オペラ公演 喜歌劇「メリー・ウィドウ」

日 時/2019年3月16日(土) 開演時間未定
会 場/西文化小劇場
入場料/未定

日 時/2019年3月17日(日) 開演時間未定
会 場/西文化小劇場
入場料/未定



名古屋芸術大学
2020年・開学50周年

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。入場無料の公演は整理券を発行します。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学 演奏課

■ 〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281

■ Tel 0568-24-5141

先輩の活躍



学び続けることの大切さ

2017年度 音楽学部卒業

石原奈央子

私は現在、特別支援学校に勤務しています。特別支援教育に関する知識の浅さや、1つの授業に複数の教員が担当をしていることでの連携の難しさに日々悩まされながらも、丁寧に教えてくださる周りの先生に支えられて無事に1学期を終えることができました。

生徒たちは少しずつ自分の課題を克服したり、苦手なことでも頑張っており取り組んだりしています。1学期だけでも生徒たちの成長を多く見ることができました。生徒の成長を間近で見ることができ、特別支援学校の教員になってよかったと感じる毎日です。周りの先生も生徒思いで、常に生徒のことを考えています。その姿を見ていると私も生徒のために一生懸命頑張ろうと思えます。

月に1、2回ある校外での初任者研修では他の障がい種の学校の初任者とも話す機会があり、知識の少ない私

にとって学ぶことが多くあります。また、この夏には宿泊研修があり、キャンプファイヤーを初任者全員で作りに上げるなどの経験もしました。初任者研修は研究授業やレポート等が多くあるためとても大変ですが、教員として一人前になるために勉強する機会をいただけて有り難く思います。

私は大学時代、実技の授業でさまざまな年代の曲を演奏することで技術を向上させるとともに、日々の授業も真剣に取り組むことで音楽に関する知識を多く身につけることができました。また、音楽史や日本音楽についての授業では、より知識を深めようと思い4年生で聴講もしました。特別支援学校の授業は、一人一人の実態に合わせて教材を工夫する必要があります。自分のアイデアで授業を行うことができますが、その反面音楽に関する幅広い知識を必要とし、名芸大で学んだことがとても生かされています。大学での4年間はあっという間でしたが、とても充実していたと感じます。これからも学び続け、自分が生徒たちに何ができるかを考えて、自分の目指す教師像に近づいていきたいです。

(愛知県立特別支援学校 勤務)

学生から社会人になるということ

2017年度 人間発達学部卒業

式守あやか

私がこの学部に入学したのは、大学で子どもの心理や発達について学びたかったからです。それを生かせる職業として保育園や幼稚園の先生をイメージしていました。実習では実際に子どもたちと関わる中で、私も温かく優しい保育士になりたい思いが強くなり、公立の保育士を目指そうと思うようになりました。

私は、今年の4月から小牧市の公立保育園で3歳児クラスの担任として働いています。4月には新しい環境に慣れず泣いていた子どもも、今では「おはようございます。」と元気よく挨拶をして駆け寄ってきてくれます。子どもたちの笑顔を見ると私も嬉しくなり、その度にやりがいを感じています。

一方で、保育士という仕事は楽しさや面白さだけでなく、大変で辛いと感じる面もあります。子どもが泣いている時に、ただ気持ちを受け止めるだけではなく、その子の

気持ちや状況によって対応の仕方を変えなければなりません。先輩方の子どもとの関わり方や接し方を拝見し、子どもの気持ちを受け止めることの奥深さや難しさを学びました。また、子どもの命を預かる職業として責任を感じています。毎日子どもの怪我や体調の変化に気を配り、無事一日が終わるとほっとします。

3月まで学生だったのに、今では社会人として仕事をしています。そのギャップに、体が疲れてしまうこともありましたが、自分で生活リズムを整え、体調管理をしっかり行うことも大切なことだと思いました。今年は、新しい経験ばかりで、先輩方から学んだり教えて頂いたりしながら、一日一日を何とか乗り越えています。

大学の先生方を始め、多くの方々に支援していただき、新たな人生のスタートをきることが出来ました。これからも、周りの方々への感謝を忘れずに、子どもたちが毎日安心して楽しく過ごせるように、日々、自己研鑽していきたいと思います。

(小牧市立保育園 勤務)



ものづくりを仕事にする

2017年度 美術学部 美術学科
洋画コース卒業

漢那由依

私は現在、ソファを取り扱う会社の製造部門に勤めています。主にソファの縫製を担当し、毎日ミシンと向き合う職人という道を歩き始めたところです。

大学では、サークルや地域の活動に積極的に参加し、自分の専門分野である洋画コースでの制作と教職科目の勉学に励み、多くの経験と教養を深めることができたと感じています。私は、大学に入学した頃美術の教員になることが夢でした。しかし、4年生になってから、教員になって教える立場になるより、自分が何かを作り出していきたいという思いが強くなり、教員が就職か人生の選択に悩んでいました。結果私は、就職することを選び、大学で学んできた油絵でも教職でもない業界に足を踏み入れました。

それでも、現在の職場で働けることが嬉しく感じるのは、就職活動において絶対条件であった「ものづくり」の分野で関わる事ができているからです。元々手芸が好きだった私はミシンの経験がないものの、趣味を生かせる職場はないかと企業研究に打ち込みました。また、テキスタイルなどの生地を扱うことに興味があった為、現在の職場を選びました。就職活動において、大事なことは自分自身の絶対条件を決めることだと思っています。自分のしたいこと、好きなこと、会社に求める条件などがちゃんと反映できるような職場を先輩の皆さんには見つけ、選択して欲しいと思っています。

私は、縫製初心者で失敗することも多く、できるようになるまで時間が掛かってしまいます。経験不足という壁に苦しむ日々です。しかし、回数を重ねることで、できなかったことができるようになり、技術の向上を身をもって感じる事が嬉しく、やりがいにつながります。今はまだ未熟ですが、日々技術を高め、会社に貢献できるよう、一人前の職人を目指し、励んでいきたいです。

(株式会社FLANNEL 勤務)

今を生きる

2017年度 デザイン学部
デザイン学科卒業

高木美穂

小学2年生の時、私はファッションデザイナーになりたいと思いました。そして今、繊維商社にテキスタイルデザイナーとして就職しました。職種は違うし、今はまだアシスタントの仕事をしているけれど、夢見ていたファッション業界で働いています。

入社4か月でようやく仕事に慣れてきました。朝早く起きることが苦手で、社会人になるにあたりそこが一番不安な点でしたが毎日仕事が始まる30分前には出勤して準備をしたり雑誌を読んで情報を集めたりしています。もともと自由に生きたい性分なので、企業に就職して働いていることが不思議で仕方ありませんが、案外その環境になってみればできることなのだと実感しました。社会人になれないと思っている芸大生の皆さんも入ってみれば案外できるので心配はいりません。

今は月から金は仕事をし、土日や仕事終わりは友人と遊んだり趣味に時間を使ったりして学生の時よりメリハリのある生活を送っています。また、趣味が増え、自由に使えるお金も増えたのでいろいろなことに気軽に挑戦できるようになりました。

小さい頃から私は何をやってもだいたい簡単にこなしてしまう子供でした。しかし社会にでてみるとそう簡単にはいかず、今まで通用していたことが全く通用しません。家や会社で泣いたりストレスで蕁麻疹がでたりもしました。でも今はまた新しく夢ができたので、それを叶えるために日々生活しています。学生時代に色々な人と関わって色々なことを経験して、それが今の私を作っています。時間がある学生時代は、やりたいことはとりあえず全部挑戦してみて、悩むだけ悩んで、しっかりと自分と向き合って自分を知ってあげてください。あとは周りの人を大切にしてください。大学4年生の時、わたしは1年間水中にいるような息苦しさを感じていましたが、今は水上でサーフィンをしています。皆さんが毎日楽しいと思える未来を送れる道を見つけられることを願っています。

(繊維商社 勤務)

親の想い

希望

芸術学部 芸術学科 音楽領域
エンターテインメントディレクション&
アートマネジメントコース
1年 母 森 愛子

この春、縁あって名古屋大に入学しました。名古屋大に受験が決まるまでいろいろとありました。高校は私学に通っていましたので、そのまま進学するものと思っておりました。高2の冬頃から学校の先生には、相談していたようでしたが、親に話しがあったのは、高3になってからでしたので、私共は、思ってもみなかった事でしたので、少しビックリしました。まず、それは「何」から始まりました。知識不足もいいところでした。進学説明会にも行き資料を集めたり、他のオープンキャンパスにも、出掛けたりしました。ただ、名古屋大のオープンキャンパスは、何か違っていった様に思います。まず、直接先生とお話できた事で、不安だった事が安堵に変わった様に思いました。あの時、忙しい中お話しいただき、ありがとうございました。どんなにか、気持ちが悪くなりました。学校の事は時々話しくれます、授業の事は聞いても

分かりません、ただ今のところ何とかやっている様です。

この夏は、サークルからインカレに出るとかで、頑張ってる練習しているようです、時々、アザを作って帰って来ます。楽しそうに出かけているので、とりあえず安心しています。サークルの先輩にも恵まれたのかな、今まで先輩との付き合いを、あまりしてこなかったので、サークルの話しを聞けるのは、とっても嬉しく思います。これからコミュニケーションを学んで欲しいです。

この先、色々な事があると思います、一步ずつ成長して欲しいです。

まず、大学生活、自分なりに悔いを残さないよう送って欲しいです。希望に向かって、自分の選んだ道、頑張ってる抱んで欲しいです。

出来る限りの応援は、して行くつもりです。

「一度しかない人生」お互いに頑張っていきましょう。



素晴らしい大学、素晴らしいケア

芸術学部 芸術学科 美術領域 日本画コース
1年 父 橋本博文

今年おかげさまでうちの長男が名古屋芸術大学に合格することが出来ました。私自身は会計が専門の人間で芸術のことは恥ずかしながらあまり分かりません。

しかしながら長男が入学して早四カ月経つのですが素晴らしい大学に長男が入学できたことを実感し、本当にうれしく思っています。

まず5月20日に後援会定期総会を催していただきました。その後卒業生の就職活動体験を聞かしていただきました。わざわざOBの方に来て頂き貴重な就活体験を話していただきました。また教授じきじきによるキャンパス案内なども丁寧にさせていただきますごく安心しました。私自身は今を遡る40年ほど前学生でしたが、大学はマンモス大学で学生に対するケアは乏しいものでした。しかし

ながら名古屋芸術大学はきめ細やかな学生、また親に対するケアがありました。教授が生徒の一人一人の名前と顔を覚え丁寧な指導をしていただけると風のうわさにききました。このようにきめ細やかな指導をしていただけるからでしょう、うちの長男が大学にはいってから本当に明るくなったのです。毎日が楽しそうなんです。もちろん高校もいい学校ではありました。しかしながら高校時代はうちの子はもっぱら絞られてばかりでかなりつらい思いをしていたみたいです。

更に野外活動なども丁寧に企画していただいたのはありがたいです。魚太郎による海鮮バーベキューツアー。また掛川花鳥園によるクロッキーという有意義な活動が盛りだくさんです。そして我々親、そして子供にとって必要なことはこのようなことは当然のことと思わず名古屋芸術大学ならではの感謝することでしょう。更にお返ししましょう。うちの長男の場合よき日本画をかくことがまさにお返しと思う次第です。

子の想い

表現者になるために

芸術学部 芸術学科 音楽領域
ミュージカルコース
1年 矢野絵里子

芸能界で常識として使われている挨拶に「おはようございます」があります。これは一日の中で初めて会う人に使われる言葉です。「こんにちは」「こんばんは」ではなく、中でも唯一の敬語です。立場に関係なく朝から晩まで相手を気遣う気持ちで使用される言葉です。これは大学に入学したばかりの頃、森泉教授から教わりました。最初に深く心に刻み込んだ言葉です。

私は幼少の頃から機械体操やバトントワリングを学んできました。特に中学、高校時代はバトントワリング一筋の毎日を過ごして来たと言っても過言ではありません。バトンには個人演技だけでなく団体演技もあります。個人演技は常に自分との闘いで、より高い技術・得点を求められます。一方、団体戦では一糸乱れぬ演技を極めるため、常に仲間とのコ

ミュニケーションを心がけ練習を重ねてきました。

バトンを通して、自分の踊りで作品を表現すること、伝えることの素晴らしさを知りました。そして幼少期から音楽を学んでいたこともあり、舞台を見ることも立つことも大好きで、ミュージカル俳優への道を目指し、この名古屋芸術大学のミュージカルコースに入学しました。

ミュージカルコースでは歌やダンスはもちろん、演技も学ぶことができます。また、舞台に立たせていただく機会も多くあり、貴重な経験をさせていただいております。

私は舞台に立つ人間となるにはまだまだ未熟なので、芸術として人を感動させられるような表現者となるために、俳優としての心構えを、この名古屋芸術大学で学んでいきたいと思っております。



BORDERLESS 1期生からの プログレス・レポート

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
メディアデザインコース
2年 菊井紫乃

今から1年半前、私は三重県立高校の芸術コースで美術を専攻する受験生でした。その年の最初に開かれたオープンキャンパスに参加した時、名古屋芸術大学が推進するBORDERLESS（ボーダレス）な大学改革の目標と教育方針に感激し、親に相談もせず、その場で一人で本学への進学を決めてしまいました。

「毎日が新しい出会いと発見の連続です。ワクワクドキドキしながらキャンパスライフをエンジョイしています」。これはBORDERLESS 1期生として入学し、ファンデーションの斬新なカリキュラムで学び始めた直後の私の率直な感想です（『後援会報』第63号）。

私はファンデーションを通じて、美術・音楽両領域の横断科目を含むデザインの基礎基本を総合的に学びました。さらにコンピュータや外国語（英語必修）、その他の教養科目を選択し、幅広い芸術の学びを修得することができました。必要な単位（教職課程を含む）を取得し、1年間の制作活動の集大成であるREVIEW（作品展）の審査にも合格点をいただき、2年次からの専攻が第1志望のメディアデザインコースに決定したことで、初年度の目標を無事達成することができました。

課外でも、数々の得難い貴重な経験をさせていただきました。実行委員会のメンバーとして、キャンパス最大のイベントである芸大祭の企画運営に携わりました。オープンキャンパスでは、見学者を運ぶシャトルバスの添乗員に採用され、車内アナウンスからキャンパスガイドまで一生懸命に務めました。ボランティア活動（附属クリエ幼稚園）にも積極的に参加しました。

こうして私はこの1年、自らの人間的成長の手応えを実感しながら、充実した学生生活を送ることができました。これもひとえに立派な先生方の手厚いご指導と、教務学生課（旧学生支援課）を中心とするきめ細やかな各種サポート、そして素晴らしい学友たちに恵まれたお陰です。名古屋芸術大学に進学して本当に良かったと、感謝の気持ちでいっぱいです。

東京オリンピックが開催される2020年、名古屋芸術大学は創立50周年を迎えます。その時私たちはBORDERLESS 1期生は学部最上級の4年生。改革の成果が検証されます。タイムリミットまであと2年半。どんなご報告ができるのか、その日を楽しみに、私はさらなる研鑽を積み、芸術の未来に向けた挑戦を続けて行きます。



クラブ・同好会紹介 〈東キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
2	フットサル部	週1回身体を動かすことで著しい体力の低下を防ぐとともに、フットサルの楽しさを皆で共有する。先輩後輩が交流を持つことで学生生活がさらに楽しくなるようにする。言葉遣いなど、社会にでてからも役立つことを学んでいく。
3	ミュージックボランティア	私たちは、音楽療法を使って高齢者施設や子どもの施設などの人たちを楽しませたり、病気を改善させたりすることを目的としています。
4	自然と暮らしを楽しむ会	自然物を使った工作や遊びを子どもと触れ合いながら伝えていくために自分達でロールプレイングをしたり、イベントにあわせて企画を考えるために、月4～6回程度集まり活動します。また、昨年同様ボランティア活動も進めていきたいと思ひます。
5	B・B・Z	経験の有無にかかわらず、男女混合でバスケットを通して身体を動かし、時にはルールの勉強をしたり、自分達で試合を運営できるように練習していく。サークルを通して上下関係を学び、仲間とよりいっそう仲を深める。
6	ルーディメンツクラブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリー、ハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立する事により、表現の幅を広げ音楽的自立を目指す。
7	和太鼓部	和太鼓という日本の伝統文化を伝えるとともに楽しさやすばらしさを観客と部員が味わう。子ども達など普段和太鼓にかかわらない人に和太鼓を教え楽しさを知ってもらう。
8	ダンスサークル	ダンス活動を通して適度な運動をし、健康的な身体を作り上げること、様々な学年と創ること考えることを共有し交流を深め大学祭などを名古屋芸術大学の一名として盛り上げることを目的とする。
9	リズム体操部	私達は創って、動いて、指導することを目的とし、体操教室などを開催し、地域との交流を誇っていきたいです。さらにラートの大会に出場し、他大学との交流を深めていきたいです。
10	中音部	教育や保育の現場でも扱われる音楽に触れ、部員が一丸となって楽しむことで人間関係の築き方や、他の人への感情共有について知る。他学部とのかわりを深める。
11	冒険KID'S	岐阜県郡上市名宝の大自然の中で春夏秋冬を通し、小学生に自然と触れ合うことの楽しさを伝え、一緒に遊びながら楽しく安全にサポートスタッフとして務め、私たちが目指す将来に役立つ「何か」を学ぶ。
12	自由工房	壁面構成や工作、クラフトを通して子ども達とかかわりながら技術を高める。また、児童館や施設へボランティアへ行く。
13	EXIA'S	バレーボールを通して、スポーツのマナーや礼儀を学ぶとともに、運動習慣を付ける。バレーボールの技術を向上させ、学外の大会で活躍するため。
14	録音部	自主的に音楽・録音作品の制作。音響での経験を重ね業界で生きる力を蓄える。
15	tiny*palette	ハンドメイドを趣味にしている人や興味を持っている人を集めて一緒に作品を作り、完成品を展示・販売してたくさんの人にハンドメイドを知ってもらうことを目的としています。またハンドメイダー同士で交流を深め技術の共有や向上を目指します。
16	Bami☆toon	適度に体を動かし個々の生活と両立をしつつ、仲間とともに体を動かす。一緒に体を動かすことで、心を許し合える仲間・場所をつくる。
17	軟式野球同好会	野球を通じ体力の向上を図り、健康に運動し他学年と関わる。
18	吹奏楽部	吹奏楽を通じて学生相互の親睦を図り、本クラブの発展と地域文化の向上に寄与し、学生の芸術性の向上と人間的成長を目標とする。また、学部(領域)を越えた活動により幅広い見識を養い芸術を総合的に思考できる人材を育てる。
19	ゴスペル部	ゴスペル音楽のルーツである歴史的背景を研究しつつ、ブラックゴスペルを極めていく。
20	名古屋芸術大学ローターアクトクラブ	中部地区唯一の大学ローターアクトクラブとして、他大学との交流を深め、芸術を通して地域文化振興に努める。
21	せんせをめざす同好会	就職に向けての学習および学校生活を充実させる意見交換会を行う。

クラブ・同好会紹介 〈西キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	テ ニ ス 部	テニス部は楽しみながらテニスを上達させるという目標を掲げる部活です！夏には水遊び、冬にはスキー合宿などのイベントがあります！テニスに興味がある人は是非来てください！
2	GONCE ス キ ー 部	毎週月・金曜日に体育館で活動しています！普段はバレーやバトミントンなど、色んなスポーツをします！冬はもちろんスキーをします！気軽に遊びに来て下さい。
3	着 付 け 部	みんなでまったりしながら着付けを練習しています。夏休みは明治村へ、春休みは京都へ一緒にお出かけしましょう！
4	バ ド ミ ン ト ン 部	バドミントン部は初心者、経験者関係なく誰でも楽しくバドミントンができる部活です！先輩や色々なコースの人たちと交流が出来て、制作の話など幅が広がると思います！気軽に体験しに来てください！
5	サ ッ カ ー 部	サッカー部では文武両道の考え方があります！学校では課題を全力でやり、週三回のサッカーは楽しく活動しています！レビュー選抜をとった先輩なども多く出ていて、先輩後輩の交流がとても盛んです！初心者ばかりなので是非遊びに来てね！！
6	動 画 漫 画 研 究 部	私たち動画漫画研究部は毎週金曜日に18時からミーティングを行っています。主な活動は年二回コミックマーケットに向けてのオリジナル漫画制作、芸大祭用のアニメーション、特撮を制作をしています。
7	写 真 部	「初心者大歓迎、己の世界を表現しよう」
8	自 由 音 楽 部	自由音楽部です！みんなでハッピーになりましょう！！
9	軽 音 部	大切な仲間とバンドを組みライブを目指して練習をする…！これは青春というしかないですね??。初心者経験者関係なくみんなで音楽を楽しんでいます！是非遊びに来てね！楽しいよ～
10	陶 芸 部	皿や湯呑み、小物など好きな形を自由に作ることができます！初心者大歓迎！気軽に見学に来て下さい！！
11	サマータイムブルース (野 球 部)	楽しく、元気に野球をしています！北名古屋市のリーグに所属し試合も行っています（合宿、様々なイベントも）。初心者、経験者、問いません！野球がやりたい、大学でもボールに触れていたい人大募集!!もちろん女の子も大歓迎！みんなで一緒に体を思いっきり動かしませんか？
12	版 画 部	版画部に入ることので、授業時間外にも版画工房を使用できるようになります。また、版画の展覧会『K109展』への参加権が得られます。年間費(共用の溶剤費)は500円。とってもお得です！
13	バスケットボール部	毎週の火曜日と木曜日に体育館を使い活動をしています！バスケットボール初心者も経験者の方も大歓迎！興味がある方は是非一度遊びに来て、みんなで楽しくまったりバスケットボールをしましょう！
14	演 劇 部	芸大祭での公演を中心に時には楽しく、時にはマジメに活動しています。初心者大歓迎！自分の殻を破りたい人、誰かに発信したい人、表現の場が欲しい人、様々な目標を胸に、個性豊かなメンバーが揃っている劇団「超熟アトミックス」さあ君も仲間に入らないか？
15	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	主にアコースティックギターでの弾き語りライブやセッションをやっています。オールジャンルOK、初心者大歓迎です。
16	ストリートダンス部	ダンスが好きな人なら初心者、経験者問わず大歓迎！新入生歓迎会や芸祭ではステージ発表もあります！GWや夏休みなどの長期休暇はBBQなどのイベントも！楽しいので是非来てください！
17	チ ェ ア ー ズ	アート・デザインを取り入れた子どもの遊びを考え、実際に遊んでもらうサークルです。夏休み・春休みを中心に活動！制作が忙しい方も両立可能！東キャンパスの方も是非！気軽に、部長の徳橋までご連絡ください。
18	Sweet Candy Boys & Girls	自然の中で運動する活動を行なっています！春はお花見、秋は紅葉狩り、夏は海、冬はスキー！1年間を通して楽しめる部活です！！その中で先輩後輩は仲が良く、コースを超えて関わることができます！！興味のある方は是非、連絡して下さい！
19	書 道 ア ー ト	名古屋芸術大学書道アート部はアートの視点から切り込んだ書の表現を追求しています。また、「書道」と「アート」の垣根、領域を越えた全方位的な活動をしています。 指導：横山豊蘭
20	ワンダーフォーゲル部	ワンゲルは月1～2回山登りやハイキングなどゆる～い活動を行います。サークルに入りたいけど課題が心配な方、他のサークルと掛け持ちで活動したい方大歓迎！ハイキングの際はみんなで料理を持ち寄ります。料理が得意な方大募集です！

21	サバイバルゲーム愛好会	私たちサバイバルゲーム愛好会は2か月に1度サバゲーフィールドへ行き、定例会に参加し、ルール、マナーを学び、正しい知識で楽しさを伝えていくサークルです。
22	テーブルゲーム部	将棋やトランプ、人生ゲーム等のコンピュータを使わないゲーム全般を気まぐれにやります。その他にもオリジナルゲームを作ったりします。どなたでも歓迎します。
23	レゴ部	LEGOは、発想力や創造力はもちろん、問題解決力や3次元的思考力が身につきます。芸術大学で学ぶ専門分野にも応用が効きます。LEGOブロックでいろんなものを作りませんか？各種コンテストにも挑戦します！
24	サイクリング部 (同好会)	車では普段何気なく通り過ぎている場所も、自転車なら新しい発見をすることもあります。自転車ならではの景色を楽しく見て回ります。
25	N U A アクリリウム同好会	芸大生という立場を通して様々な生物の魅力を発信していく事によって環境問題などを身近に意識し、それを活かした作品作りやデザイン制作を心掛けられるようにします。
26	芸大祭実行委員会	私たちと一緒に芸大祭を「作って」みませんか？実行委員会は名芸最大イベントでもある芸大祭の企画や運営をしています。旅行などの楽しいイベントもいっぱい！色々な学部の友達や先輩と最高の思い出を作りましょう！



後援会委員募集

名古屋芸術大学の御父母の皆様、日頃より大学後援会にご理解とご協力を頂き御礼申し上げます。後援会は大学に学ぶ学生の保護者の皆様によって運営組織されています。大学とご家庭の架け橋、学生達が充実した学生生活を送って欲しいという願いの元、サポートすることを目的としています。

大学と連携をしながら後援会の活動の立案、芸大祭などの諸行事への参加、教育活動への助成などの活動を行っております。後援委員会は大学内において学長先生にも参加していただき開催します。

本学生の未来、生涯に亘る貴重な大学生活が財産となる手助けを委員として参加してみませんか。

是非、随時参加ご連絡をお待ちしております。

【お問い合わせ】

電話：0568-24-0315（内線385番）

メールアドレス：kouenkai@nua.ac.jp

副会長 三浦真由美



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

TOPICS *pick up*

芸術学部 音楽領域 音楽領域に2つの新コースが誕生します！

2019年4月、芸術学部音楽領域に新コース「ダンスパフォーマンスコース」と「ウインドアカデミーコース」が誕生することになりました。

ダンスパフォーマンスコースでは、ヒップホップを始めとした様々なジャンルのダンスを学ぶのはもとより、ヴォーカル、アクティングなどのエンターテインメント全般を学び、あらゆるジャンルに対応するマルチなダンサーを育成します。

指導者として、世界的ダンス・アーティストであるケント・モリ氏(特別客員教授)や、名倉ジャズダンススタジオ・カンパニーの古賀明美氏(准教授)などが就任予定です。

ウインドアカデミーコースでは、中・高等学校をはじめ社会人の間でも根強い人気のある吹奏楽に関してマネジメントができる人材を育成します。演奏や指揮、作編曲の力を備えた指導者育成だけでなく、舞台演出、企画、レコーディング技術、さらにはリペアや吹奏楽を構成しているすべての楽器(木管、金管、打楽器等)の奏法についても在学中に研究し、吹奏楽に関連した就職(教職、楽器メーカー、楽器指導者、吹奏楽指導者、管楽器リペア技師など)を目指します。

両コースとも、2017年度の学部改革により実現したボーダレスな学びにより、現代社会で求められている高いコミュニケーション能力なども身に付けていきます。



芸術学部 美術領域 「FROM DENMARK 2018」を開催しました

美術領域アートクリエイターコースは、デンマークのVillage Association for Gludsted & environs との交流の一環として、一年おきに作家を招いてアーティスト・イン・レジデンス「FROM DENMARK」を開催しています。この交流は1999年から続いており、これまでおよそ30名の本学卒業生や教員がデンマークでのアーティスト・イン・レジデンスに参加してきました。

今年度はJoergen Mikael Andersen (ヨーン・ミカエル・アンデルセン)を日本に招きました。本学からは、昨年7月に



デンマークに招聘された松岡徹（アートクリエイターコース准教授）と山本千晴（同コース卒業生）、2018年6月末に Gludsted（グルドゥステッド村）で開催された” International Art Workshop in Gludsted 2018” に招かれた磯部絢子（本学アート&デザインセンター職員/日本画コース卒業生）と山本真弥圭（本学非常勤職員）がこのレジデンスに参加し、5月17日から約2週間、西キャンパスK棟109室で公開制作を行いました。その発表の場としてこの5名の作品と、学生たちが公開制作に混じって制作したドローイングなどの作品もあわせて本学アート&デザインセンターで展示を行いました。



芸術学部 デザイン領域 デザイン領域連携事業 荘川町ロゴマークデザインコンペ表彰式を開催しました

本学は、岐阜県高山市と連携協定を締結しています。

2017年1月、高山市にある「荘川町まちづくり協議会」より、本学に町のロゴマークデザインのご依頼をいただき、コンペ形式でデザインの公募を行いました。

＜ロゴマーク募集の趣旨＞

荘川町まちづくり協議会では、荘川町ならではの特色や荘川らしさ（自然、景観、文化、雪国の暮らし、人情）を見つめ直し、地域に誇りを持ち、地域が一丸（協力）となって、「豊かな自然と文化に誇りをもち いつまでも 住み続けたいと思うまち」をビジョンにかかげ、まちづくりを進めています。

そこで今回、連携協定を結んでいる名古屋芸術大学の学生に荘川町の優れた特色を広く知っていただき、また、住民に親しみを持って「まちづくり」のシンボルとなるロゴマークを作成し、様々な場面でロゴマークを使用することで活力あるまちづくりを進めます。（荘川町ロゴマーク募集要項より）

デザイン領域では、学生有志によるデザイン案が複数提示されました。応募作品の中から荘川の住民のみなさまによる投票が行われ、厳正なる審査の結果、以下の3名の作品が選出されました。

- 最優秀賞/森葵さん ヴィジュアルデザインコース3年（当時）
- 優 秀 賞/鈴木凌果さん メディアコミュニケーションデザインコース2年（当時）
- 3 位/水野真由さん ヴィジュアルデザインコース2年（当時）
鈴木凌果さん （2作品提出のうちの他方）

2018年2月15日(木)、西キャンパスY棟大会議室にて、コンペ受賞者の表彰式を実施しました。荘川町まちづくり協議会会長の野村末男様より、お祝いと感謝のコメントをいただき、表彰状授与が行われました。



芸術学部 芸術教養領域

港まちづくり協議会で「み(ん)なとまちをつくるアーカイブプロジェクト」が 開催されました

「港まちづくり協議会」とは、2006年より名古屋の港まちのエリアにて「暮らす・集う・創る」をテーマに、防災、子育て、各種のコミュニティ活動、アートプログラムなどクリエイティブな視点から、様々な事業を展開している団体です。その一環として、現在名古屋市港区で多数開催されている、港まちに「アート」を繋げるプロジェクトの中心で活動しているのが、芸術教養領域非常勤講師の古橋敬一先生です。

先生がこの活動を始めた2008年頃は、まだまちの人たちが一体となってまちづくりをしていこうというムードではありませんでした。しかしその中で「なごやのみ(ん)なとまち」というコンセプトが生まれ、「ぶらり港まち新聞」が発行されることによって、「港まちづくり協議会」への理解が少しずつ芽生えていきました。

2015年から「アート」を取り入れた「まちづくり」が本格的になっていき、その拠点となる「Minatomachi POTLUCK BUILDING」ができました。この「Minatomachi POTLUCK BUILDING」ではさまざまな展覧会・ワークショップ・イベントが開催され、アートやカルチャーが好きな若者たちから注目を集めています。

「み(ん)なとまちをつくるアーカイブプロジェクト」もその一つ。港まちに暮らす人々の個人的なエピソードを集積し、まちの新たな輪郭を記録・成長させていくことで、まちの未来の姿を思い描くプロジェクトです。「Minatomachi POTLUCK BUILDING」2Fでは、芸術教養領域の学生4名が、「生き方と働き方」をテーマに街頭インタビューを行った展示もありました。

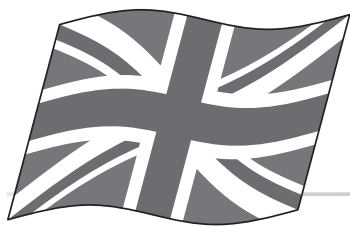


人間発達学部

本学東キャンパスでは、11号館に設置されている「子どもコミュニティセンター」が主体となり、近隣の子どもと保護者の方々に向けて、様々な遊びを取り入れたワークショップや、教員による子育てに関する講座などを開催しています。

これらのワークショップや講座は、子育て中の保護者の皆様の交流の場となるなど地域への貢献だけでなく、サポートする人間発達学部の学生たちにとっても保育の現場体験を通して子どもと一緒に成長できる貴重な機会となっています。





University of Brighton
Graduate Show

ブライトン大学訪問記

後援会長 山内正春

去る5月31日から6月4日までの3泊5日でイギリスにあるブライトン大学を訪問しました。訪問したのは、大学から水内国際交流センター長（デザインの准教授）、田口教授（美術領域）、則武准教授（デザイン領域）と後援会から会長の山内の計4名です。ブライトン大学の芸術学部と名古屋芸術大学が20年以上にわたる姉妹校提携により毎年卒業に合わせたこの時期に訪問しています。目的は卒業展で優秀作品を選抜し表彰するためです。ブライトン大学は学生数2万人を超える総合大学で、イギリスの南部に学部毎に5カ所ほどキャンパスがあります。芸術学部のキャンパスは1600人程度の学生数でブライトン市の海岸に近い観光都市にあります。

訪問初日の6月1日は、各領域から事前の選ばれた候補13作品をじっくりと見学しました。学生が自分の作品の背景、苦労話、よかった点をアピールします。我々はその作品についていろいろ質問しながら、個人的に評価をします。13作品すべてを鑑賞後4名で1位；1作品、2位；2作品、3位；3作品を選考するためにまず6作品を選抜します。その後田口教授を中心に4名で議論しながら順位付けをします。その後表彰状を作成して初日は終了です。

1位の作品は3次元の陶芸（セラミックス）の作品でした。幾重にも重なった地層と空洞からなる作品で、その地層を表現する手法としてセラミックスとボール紙を交互に重ね、最後に紙を燃やすやり方でセラミックスの凹凸の断層を形成するものでとてもユニークな作品でした。2位の作品は動画部門と繊維部門の2作品、3位は写真部門、映像と音楽、物理を応用したFine Art部門の3作品でした。いずれもユニークな作品で私の芸術作品という固定観念を超越した作品でした。

翌6月2日は、表彰式です。会場は学部の中央部に位置し300名程度収容できる雑壇スタイルホールです。副学部長（女性）の挨拶の後ブライトン大学賞、各スポンサー賞に続き最後に名芸賞の順番でTotal 1時間30分程度で行われました。副学部長が名芸とブライトンの関係と名芸賞のいきさつを紹介した後、我々代表団4名が壇上に上がります。まず水内さんが式典招待に対する感謝の言葉と、名芸賞Winnerの氏名と作品名を紹介します。続いて作品のコメントを述べ、私がWinnerに表彰状を手渡します。名芸賞6人目の最後の表彰が終わると、水内さんが最後に“名芸後援会会長から挨拶をします。”と私を紹介し、挨拶をしました。挨拶が終わると残りは再び副学部長が挨拶し約90分の表彰式が無事終了しました。



ブライトン大学とはこれまで交換留学生やお互いの卒業展での表彰等長く交流を続けており、今回が21回目となりました。今後も両校による交流によりお互いのよいところを勉強して更に発展することを期待しています。



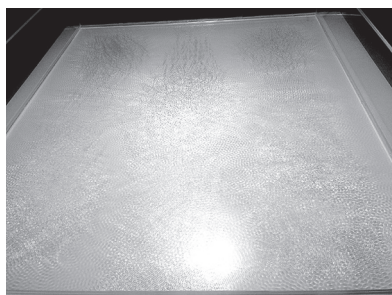
1位



2位



2位



3位



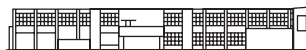
3位

アート&デザインセンター 2018/2019 展覧会スケジュール

2018	
3月30日(金)~4月11日(水)	2017年度デザイン学部レビュー展
5月18日(金)~5月23日(水)	yellow
//	全く広くない、この場所
5月25日(金)~5月30日(水)	彫刻・水彩・素描
//	考えろ1
//	LOST NECK
6月1日(金)~6月6日(水)	From Denmark 2018展
6月8日(金)~6月13日(水)	教員展
6月15日(金)~6月20日(水)	あゆみ。たどりつき。そして
//	のこぎりやね
//	あゆみ。たどりつき。そして
6月22日(金)~6月27日(水)	プレソツ展
6月29日(金)~7月4日(水)	まよなか展(仮)
//	コミュニケーションデザイン&アート演習発表展
7月6日(金)~7月11日(水)	2018年度 前期交換留学生作品展
//	“KEN”
7月13日(金)~7月18日(水)	スペースデザインコース展
//	私の椅子・ツール展
//	芸術教養レビュー
7月20日(金)~8月1日(水)	素材展
9月21日(金)~9月26日(水)	先輩・後輩展ー久野利博と教え子たちー
9月29日(土)~10月8日(月・祝)	美術領域 企画展「ピヨンド・ワンダー ~コートピアへの道」
10月12日(金)~10月17日(水)	Agnieszka Golda and Martin Johnson “Slow Force”
10月19日(金)~10月24日(水)	洋画1 コース&彫刻クラス展
10月26日(金)~10月31日(水)	書道アート展
//	洋画2コース4年5人展
11月2日(金)~11月14日(水)	デザイン領域 企画展「ヨーロッパ自動車人生活」
11月16日(金)~11月21日(水)	MCDデパートメント2018
11月23日(金)~11月28日(水)	大学院レベルの交流展(仮)
11月26日(月)~11月28日(水)	ア”ーッ!ラジオ
11月30日(金)~12月5日(水)	メディアデザインコース展
12月7日(金)~12月12日(水)	こどもの空間 絵本と家具
//	2018年度 後期交換留学生作品展
12月14日(金)~12月19日(水)	洋画2コース2年3年生 選抜展(仮)
2019	
1月4日(金)~1月9日(水)	アートクリエイターコース 陶芸・ガラスクラス 2・3年生合同展覧会「工芸展」
1月11日(金)~1月16日(水)	日本画3年作品展
1月18日(金)~1月23日(水)	幼稚園児たちのゲイジツ
//	Hand hospeace 医療と美術2018
2月16日(土)~3月3日(日)	第46回名古屋芸術大学卒業制作展・ 第23回名古屋芸術大学大学院修了制作展

※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

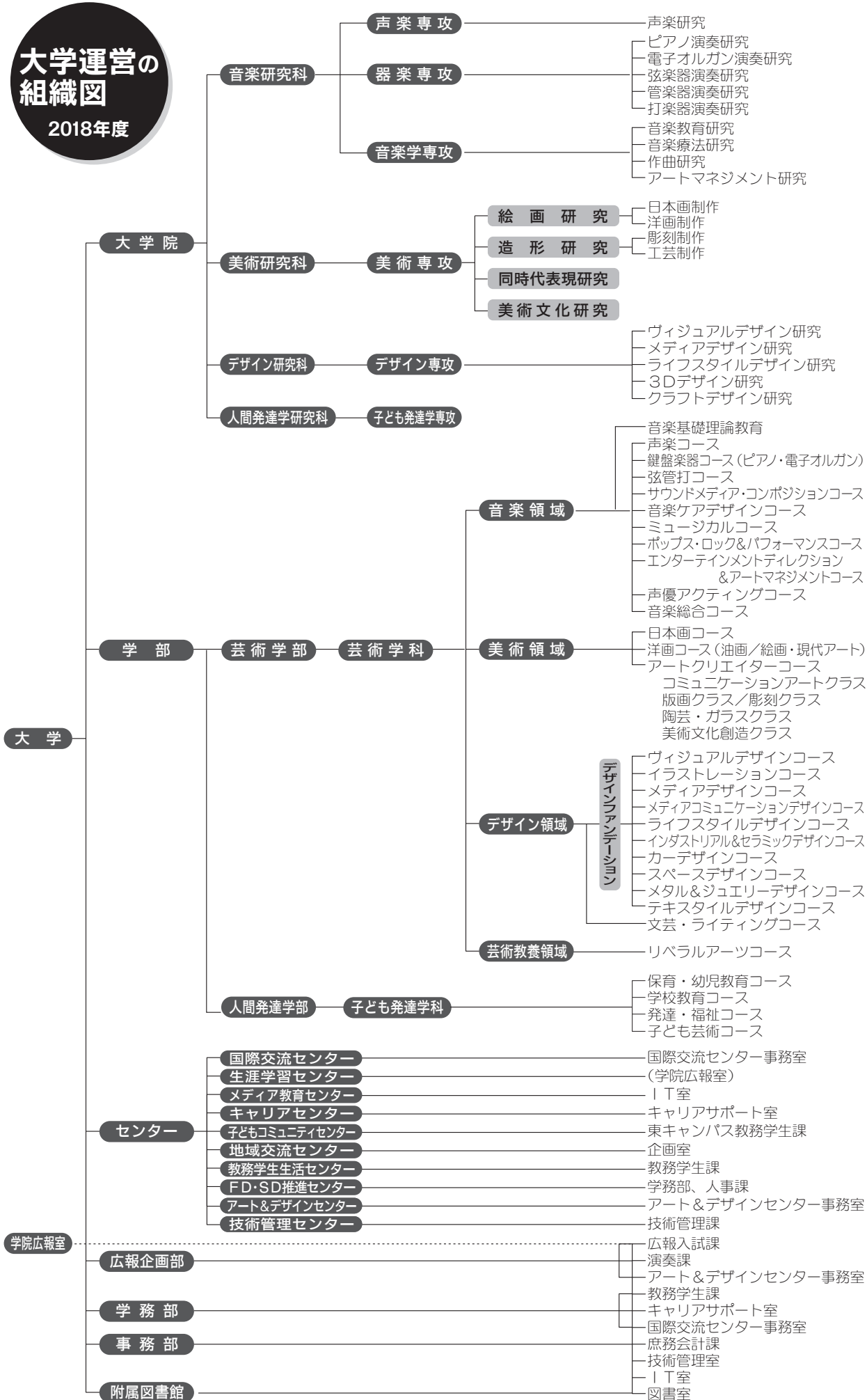
Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

大学運営の組織図

2018年度



名古屋芸術大学・大学院後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要なと認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
 - (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。
- (1) 総務委員会
 - (2) 事業委員会
 - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。
- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。
- 第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
3. 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、平成18年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学・大学院後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は平成17年4月1日から適用する。

学校法人名古屋自由学院決算報告

平成29年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目	28 年 度	29 年 度	前年度比較
【事業活動収入】			
学生生徒等納付金	3,040,038	2,946,036	△94,002
補助金	256,340	268,725	12,385
その他	374,942	593,280	218,338
A基本金組入前事業活動収入計	3,671,321	3,808,041	136,720
基本金組入額	0	0	0
B事業活動収入計	3,671,321	3,808,041	136,720
【事業活動支出】			
人件費	2,473,252	2,664,453	191,201
教育研究経費	1,102,736	1,058,949	△43,787
管理経費	422,034	488,474	66,440
その他	4,500	38,189	33,689
C事業活動支出計	4,002,522	4,250,066	247,544
A-C 基本金組入前当年度収支差額	△331,201	△442,025	△110,824
B-C 当年度収支差額	△331,201	△442,025	△110,824
基本金取崩額	220,227	262,131	41,904

事業活動収入の部は、学納金収入は減少し補助金収入等は前年度を上回り、事業活動収入計は38億804万円(前年度比1億3,672万円増加)となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今年度はありませんでした。

事業活動支出の部は、人件費26億6,445万円、教育研究経費10億5,895万円、管理経費4億8,847万円、事業活動支出計は42億5,007万円(前年度比2億4,754万円増加)となりました。

当年度収支差額は4億4,203万円の支出超過となりました。

平成29年度 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	29年3月31日現在	30年3月31日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	15,727,009	15,590,772	△136,237
流動資産	1,747,765	1,753,951	6,186
資産の部合計	17,474,774	17,344,723	△130,051
【負債・基本金・消費収支差額の部】			
固定負債	1,281,263	1,268,709	△12,554
流動負債	820,890	1,145,418	324,532
負債の部合計	2,102,149	2,414,127	311,978
基本金	19,104,466	18,842,335	△262,131
翌年度繰越収支差額	△3,731,842	△3,911,739	△179,897
負債及び純資産の部合計	17,474,774	17,344,723	△130,051

資産の部合計は173億4,472万円(前年度比1億3,005万円減少)、負債の部合計は24億1,413万円(前年度比3億1,198万円増加)、基本金の合計は188億4,233万円(前年度比2億6,213万円減少)、翌年度繰越収支差額は39億1,174万円の支出超過となりました。

注1. 千円未満は、四捨五入。
詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

「せせらぎ合唱団」団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学後援会の有志により「歌を歌って楽しもう」と19年前から活動している合唱サークルです。美術部の絵画サークル「壁の華」より数年遅れて始まりました。いまでは両方の会員になって活動している方もあります。今年入学された父兄の皆様には5月の定期総会に出席された方々にはすでに案内させて頂きました。まだこの会をご存知ない方々にもぜひともご存知いただきたく、この会員の募集をします。「せせらぎ」とは、小川の流れや音です。合唱は一人の声は小さく弱いのですが、仲間の声を聞き合わせるとカラオケとは違ったハーモニーが出来ます。うまく歌えなくても、心が楽しく、気持ちが浮き立ってきます。この4月からは、団員の歌いたい曲「ハナミズキ」（一青窈：作詞）を10名位の団員で歌っています。皆さんを、団員のみならずお待ちしています。ぜひともこの仲間に加わって一緒に歌おうではありませんか？発声練習の時間も、中学校の音楽の時間歌ったことのある「ローレライ」や「夢路より」を二部合唱で歌っています。

声を出すことで、健康を実感できるこのサークルへ、是非とも加わってください。お待ちしております。

【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から2時30分まで
(都合により変更あり)

【場所】

東キャンパス4号館の3階のオペラ教室
(グランドピアノで練習)

【指導者】

本校の卒業生である山田正丈先生と江端智哉先生に発声の仕方から各パートの音取りを懇切丁寧に教えてもらっています。

〈問い合わせ先〉

会 長 長江 政則
〒480-1214 瀬戸市上品野927番地
電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706
副 会 長 千石 智子
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6
電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324



絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名古屋芸術大学後援会の有志によって活動を続けている絵画グループであります。毎月一回大学の施設をお借りして大学の先生方により丁寧な指導をして頂いております。油彩、水彩、パステル画を中心に、今年からは日本画についても教えて頂けます。そして、制作された作品を名古屋市民ギャラリーに展示して、皆様に鑑賞して頂いております。今年で第24回の展覧会を、開催し続けております。

この他にスケッチ会、鑑賞会等があります。

最近、若い会員の方に入会していただき、益々賑やかなグループとなりました。

是非、後援会の皆様も「壁の華」の会に入会して頂きませう様お勧め致します。

【活動状況】

- 1、月例会 (月額会費：1,000円)
日時：毎月第三日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス
- 2、グループ展 (24回継続中)
日時：毎年5月上旬(一週間展示)
場所：名古屋市民ギャラリー 7F
- 3、スケッチ会 11月予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

〈問い合わせ先〉

会 長 宇佐見 誠也
〒489-0874 瀬戸市幡野町508
電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58
電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671



編集後記

突然ですが、本学の2018年度演奏会整理券はお手元にお持ちでしょうか？本年度はこれまでの整理券とは異なり、6月29日の「コンチェルトの夕べ」を皮切りに3月10日の「第21回大学院音楽研究科修了演奏会」まで、全13回の演奏会が一枚のカードにリストアップされており、スタンプラリーの要領で聴きに行った演奏会の欄にスタンプを押してもらおう、という趣向が凝らされています。13回中10回の公演をお聴きになると何か素敵なプレゼント(?)があるのだから…

地震、大雨、連日の殺人的な暑さとか何か地球規模での異変を感じずにはいらなかった今年の夏ですが、この会報が皆様のもとに届く頃には穏やかな芸術の秋が到来していることと思います。童心に戻り、スタンプを集めに演奏会場まで足を運んでみるのはいかがでしょう。 広報委員長 野々山早苗

- ◆発行 名古屋芸術大学・大学院後援会
〒481-8503
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学・大学院後援会
広報委員会
- ◆表紙デザイン
本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆発行日 2018年(平成30年)9月31日

